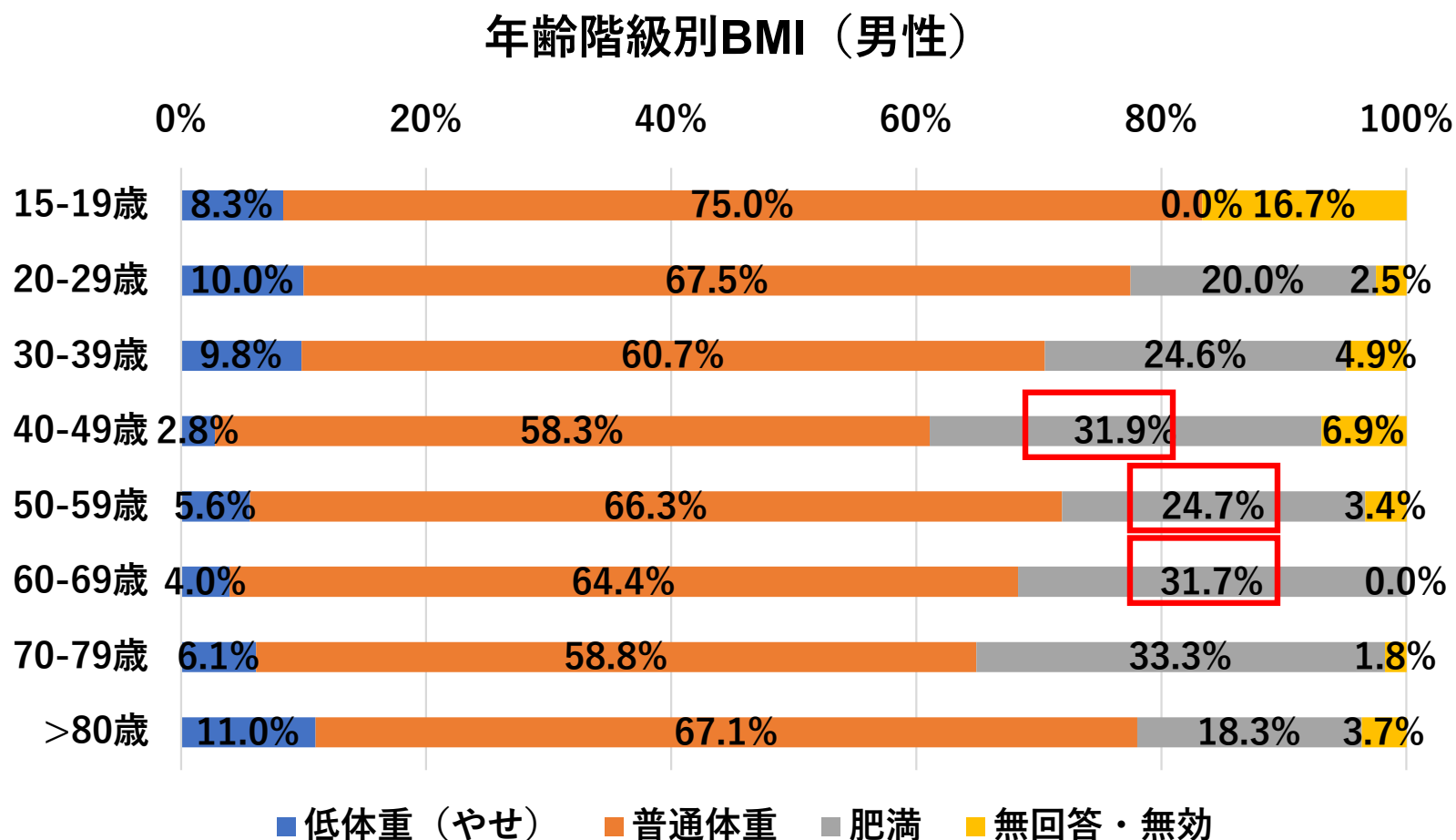


京都市 健康長寿・口腔保健・食育推進プラン
「第2章 現状と課題」補足資料

○ “生活習慣”に関するもの【栄養・食生活】

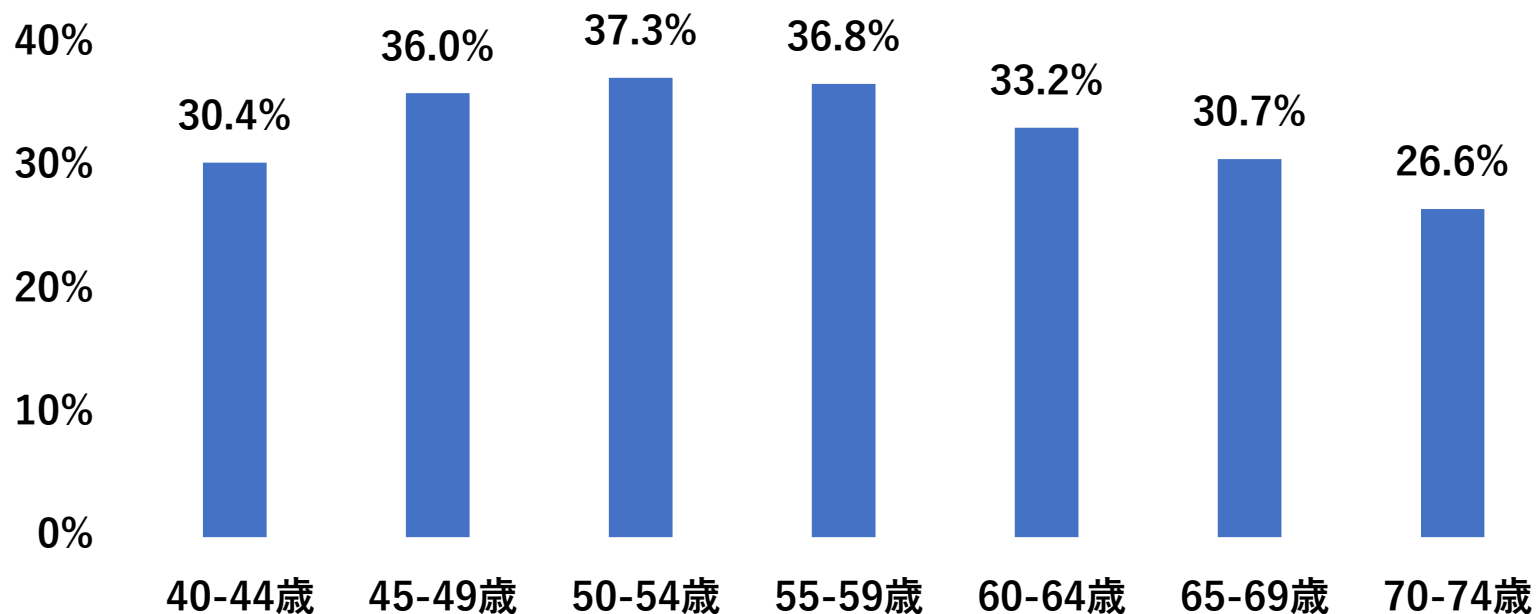
- 肥満に該当する男性の割合は、40歳以降高くなる。
(40歳代 31.9%、50歳代 24.7%、60歳代 31.7%)



○ “生活習慣”に関するもの【栄養・食生活】

(参考) 京都市国民健康保険特定健診における男性の肥満の割合

BMI 25以上の者の割合

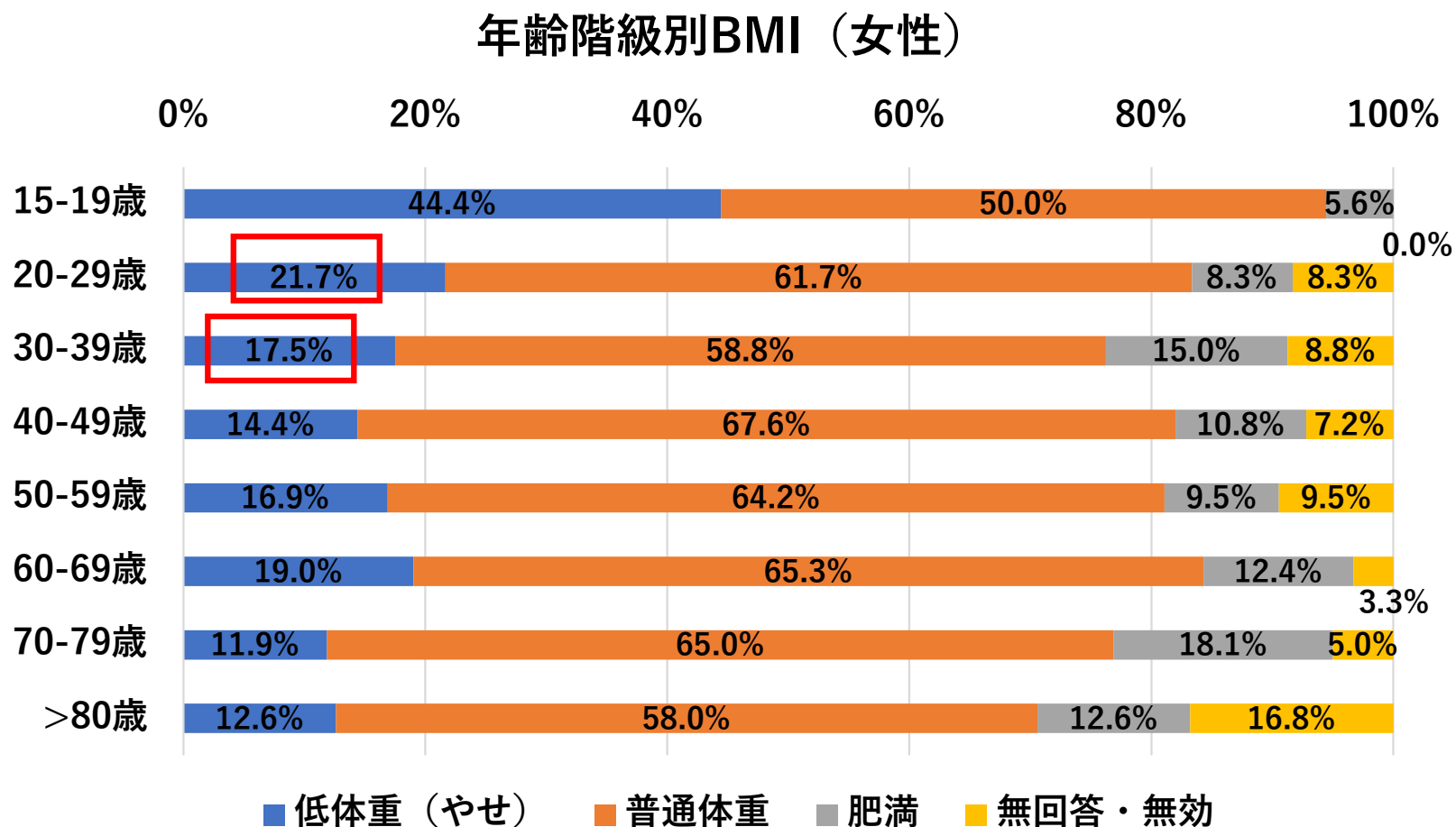


1:男性

出典：令和3年度特定健康診査結果（京都市国保）

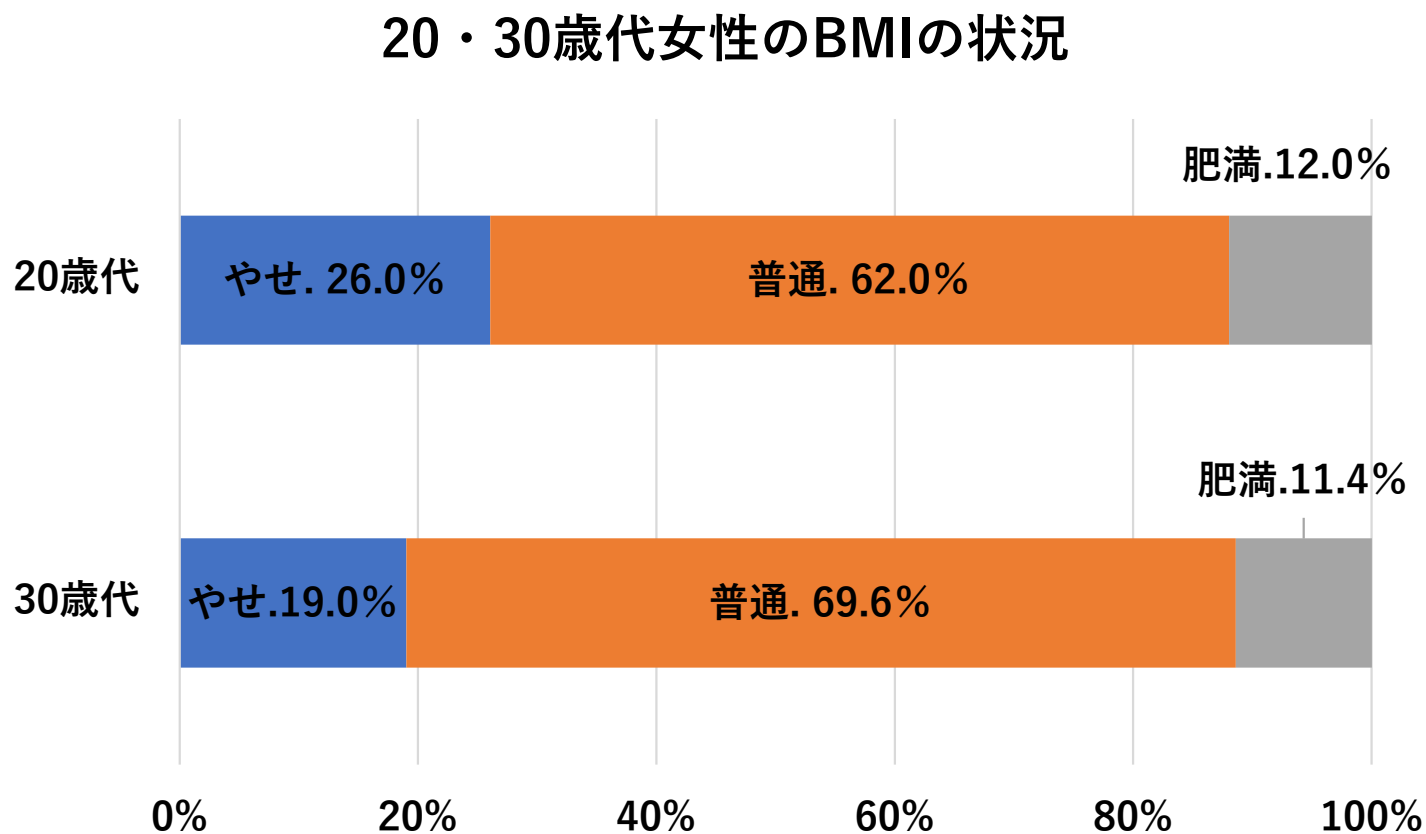
○ “生活習慣”に関するもの【栄養・食生活】

- やせに該当する女性の割合は、若年女性において高い傾向
(20歳代 21.7%、30歳代 17.5%)



○ “生活習慣”に関するもの【栄養・食生活】

(参考) 京都市青年期健康診査における女性のやせの割合



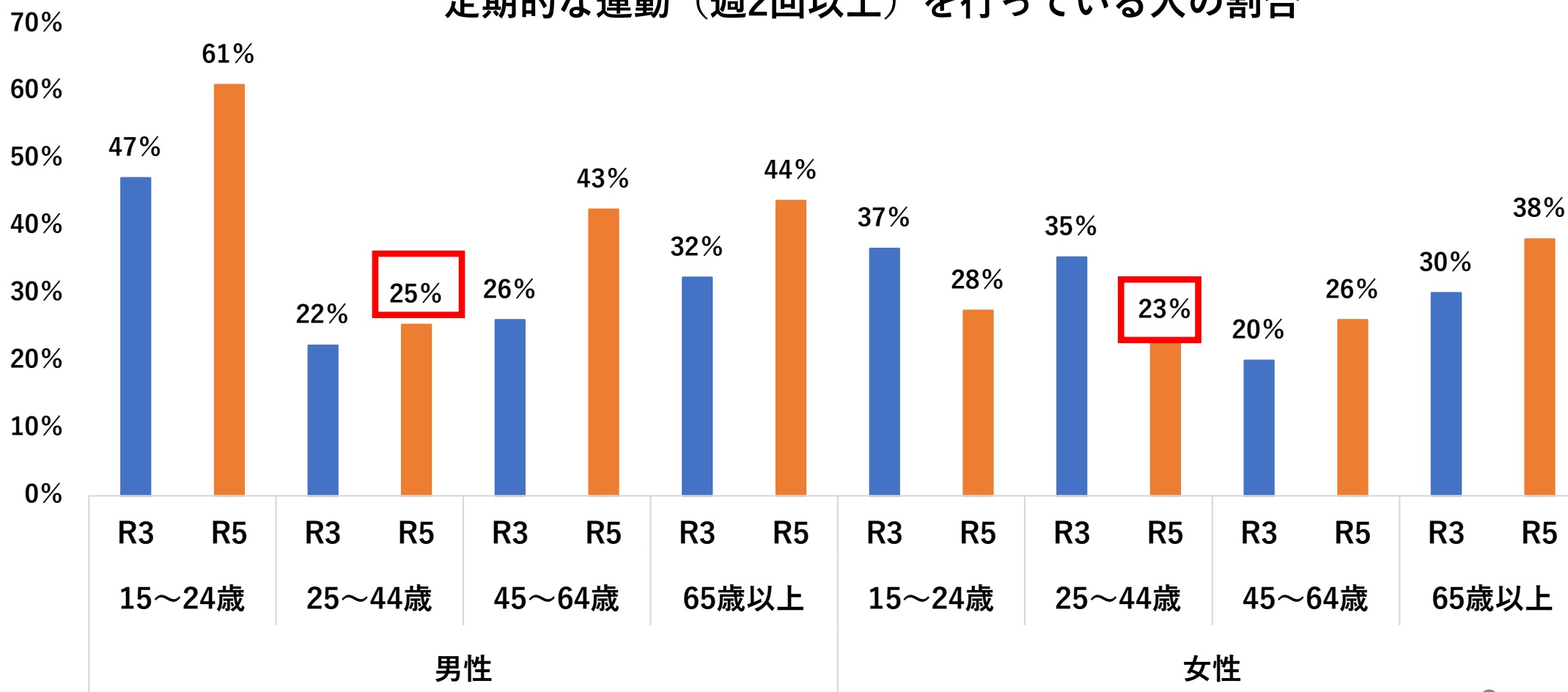
出典：令和4年度京都市青年期健康診査結果



“生活習慣”に関するもの【身体活動・運動】

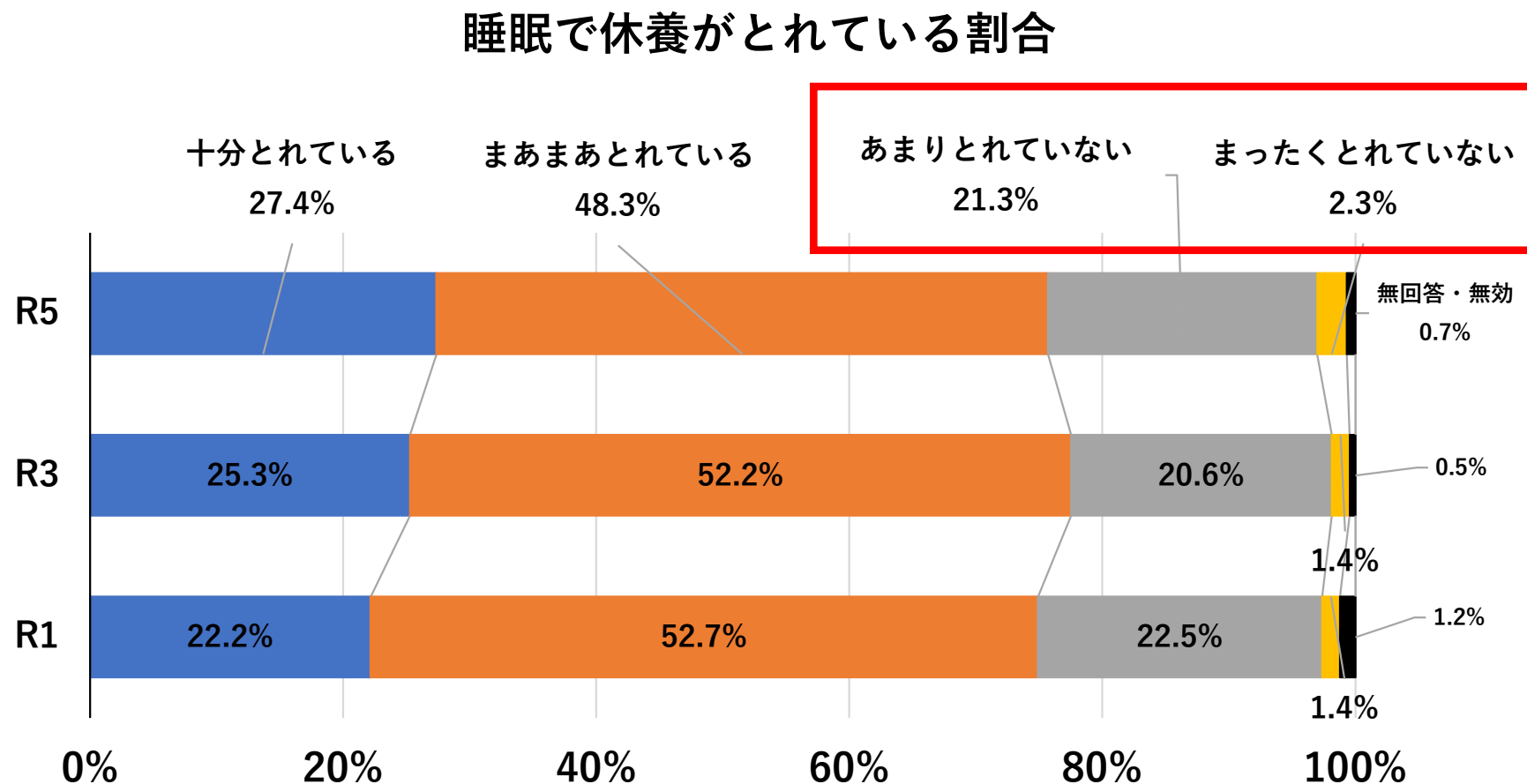
- 定期的な運動（週2回以上）を行っている人の割合は、男女とも25～44歳の年齢層が他の年齢層より低い傾向にある。（男性25.4%、女性23.1%）

定期的な運動（週2回以上）を行っている人の割合



○ “生活習慣”に関するもの【休養・睡眠】

- 23.6%の市民が、睡眠で休養をとれていないと感じており、経年で大きな変化はない。

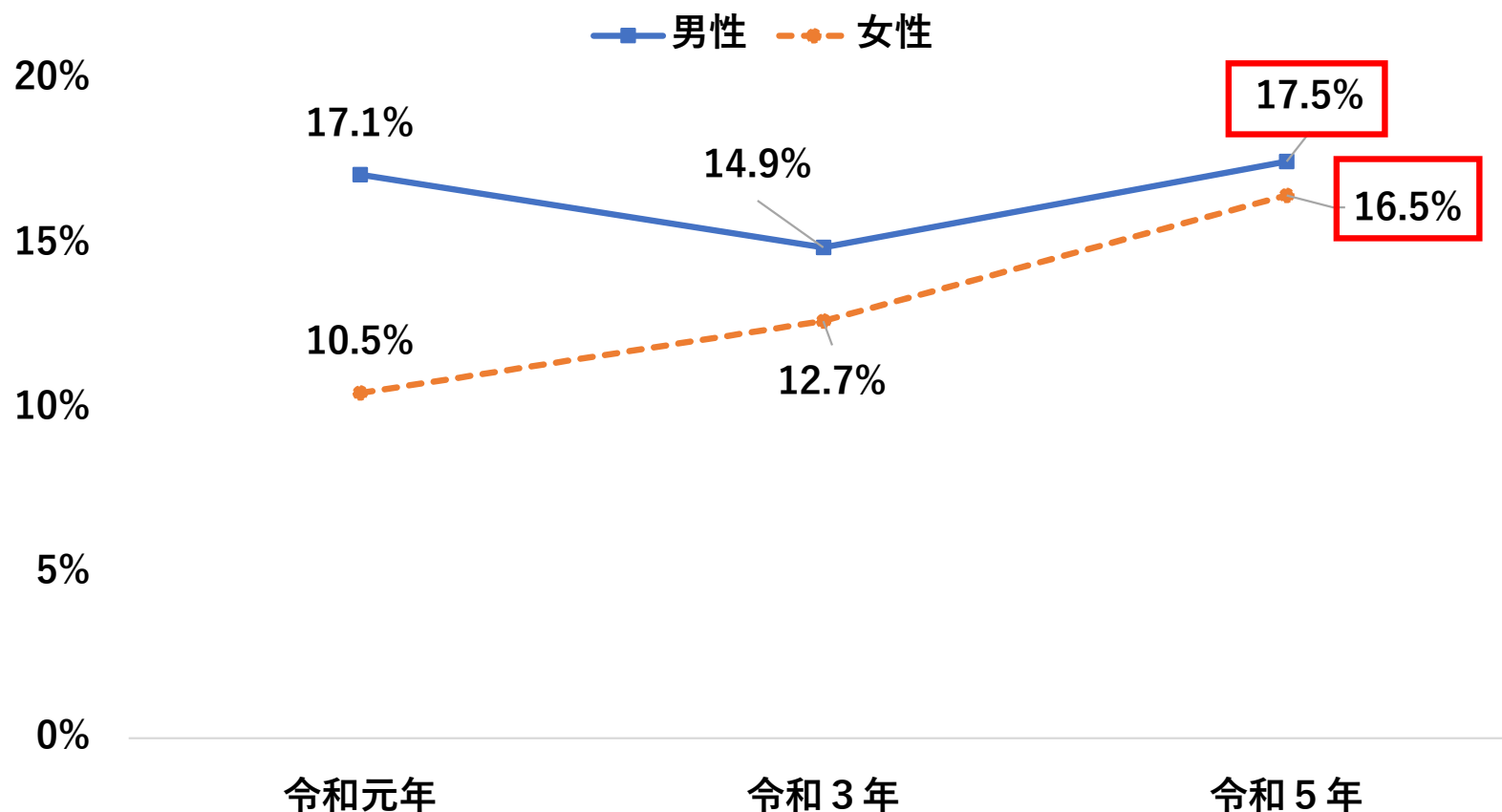


出典：京都市健康づくり・口腔保健・食育に関するアンケート（令和元・3・5年度）

○ “生活習慣”に関するもの【飲酒】

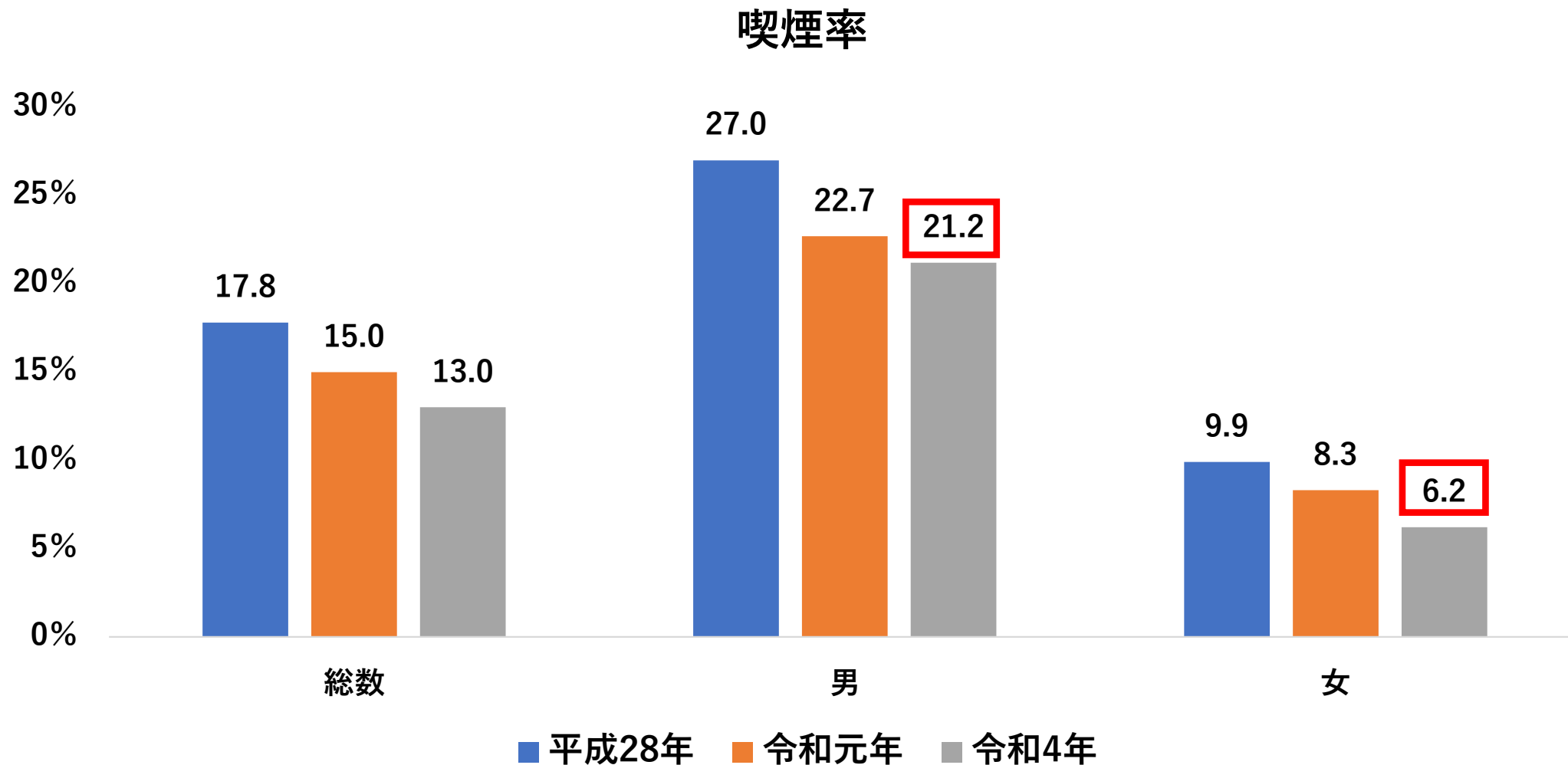
- 成人男性の17.5%、成人女性の16.5%が、生活習慣病のリスクを高める量（男性2合以上、女性1合以上）の飲酒をしており、経年で増加している。

生活習慣病のリスクを高める量（男性2合以上、女性1合以上）
の飲酒をしている者の割合



○ “生活習慣”に関するもの【喫煙】

● 成人男性の21.2%、成人女性の6.2%が、喫煙をしている。

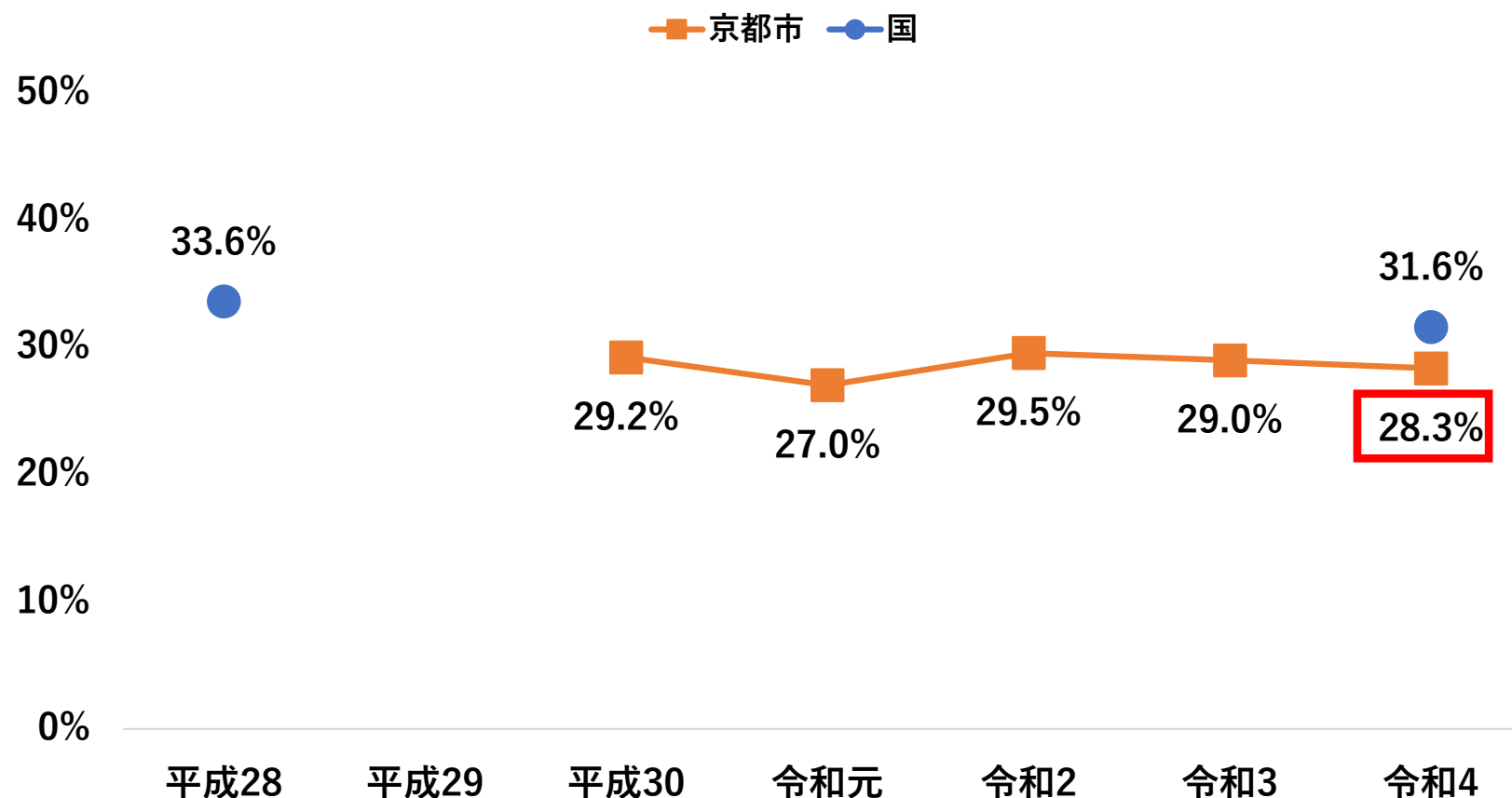


出典：国民生活基礎調査（平成28・令和元・4年度）

○ “生活習慣”に関するもの【歯・口腔の健康】

● 20歳以上の28.3%に治療していないむし歯がある。

20歳以上で治療していないむし歯がある市民の割合

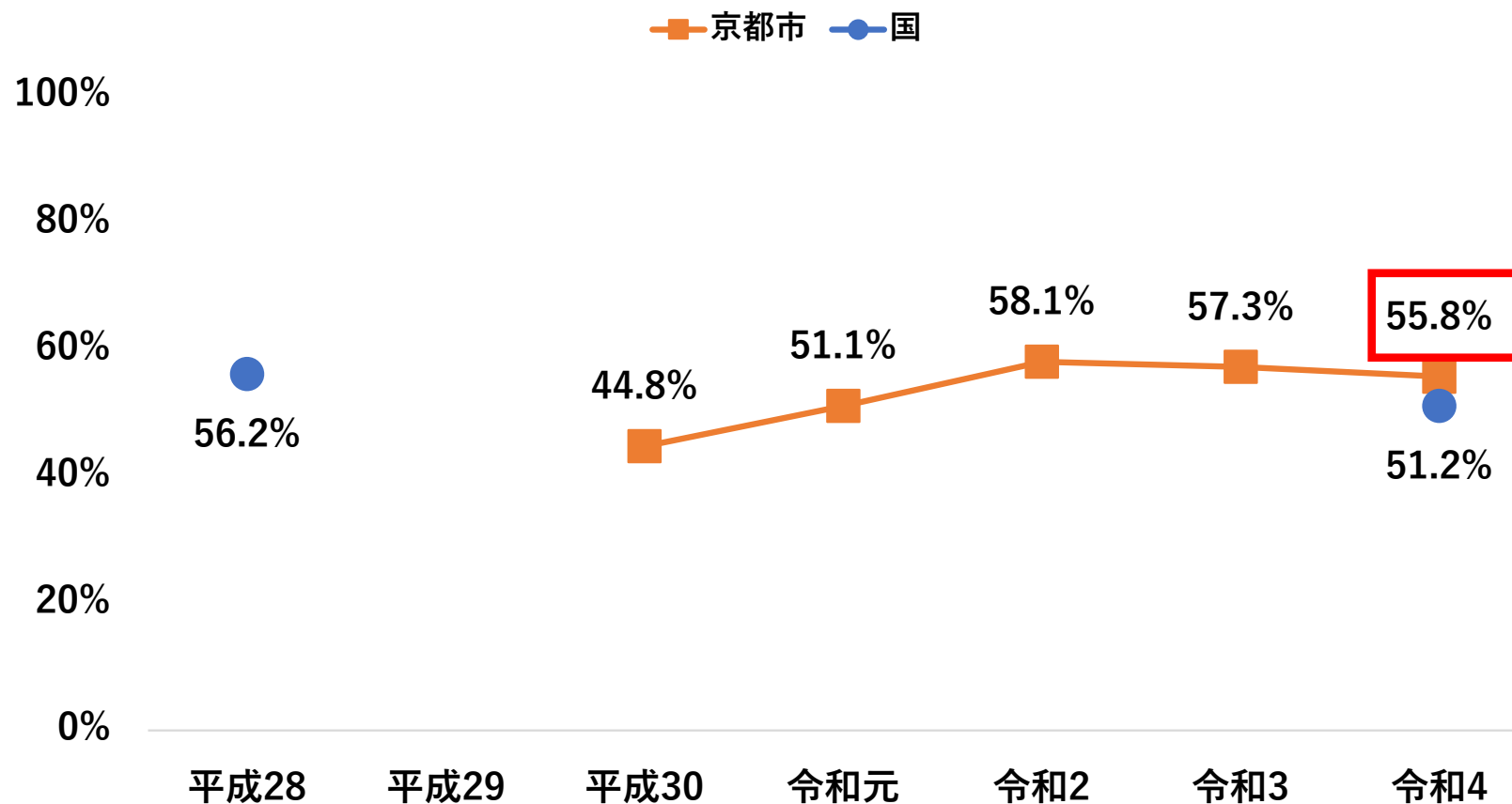


出典：京都市歯科健診事業集計データ（平成30～令和4年度）、
歯科疾患実態調査（平成28・令和4年度）

○ “生活習慣”に関するもの【歯・口腔の健康】

● 40歳以上の55.8%に歯周病の進行がみられ、経年的に増加傾向である。

40歳以上で歯周病の進行がみられる市民の割合

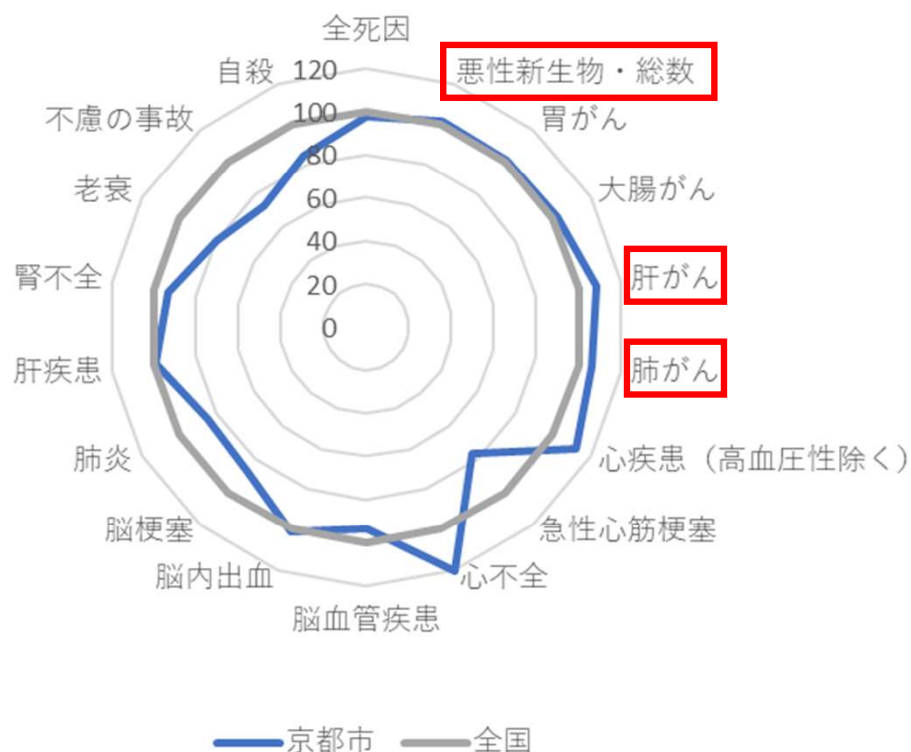


出典：京都市歯科健診事業集計データ（平成30～令和4年度）、
歯科疾患実態調査（平成28・令和4年度）

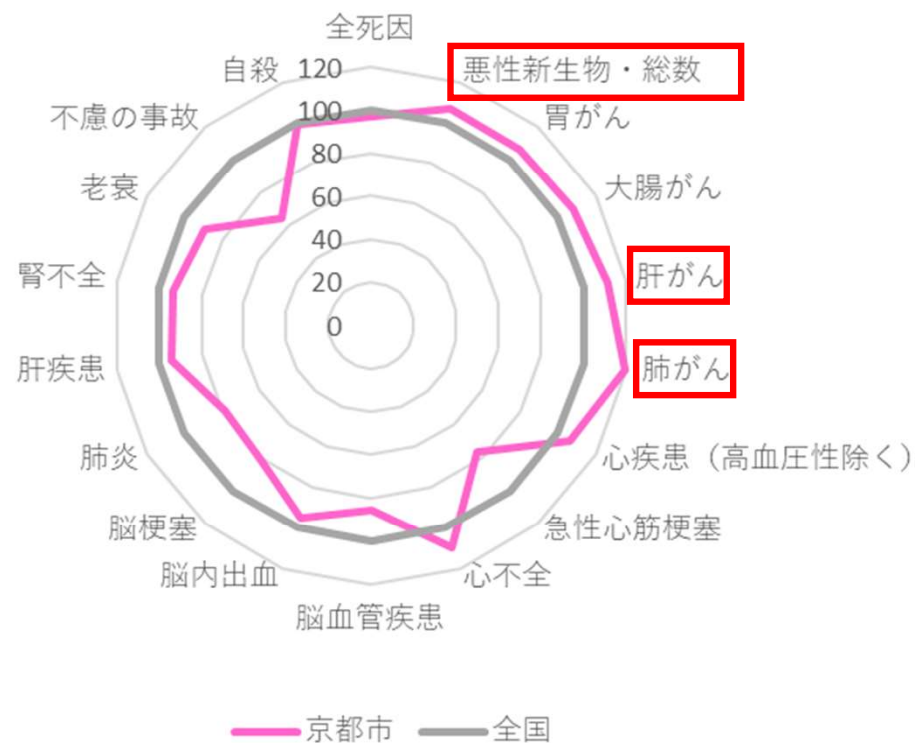
“生活習慣病”に関するもの【がん】

- 主要死因の第一位、標準化死亡比では、がん総数及び肺がん、肝がんによる死亡は全国と比較して高い。

主要死因の標準化死亡比（男性）



主要死因の標準化死亡比（女性）



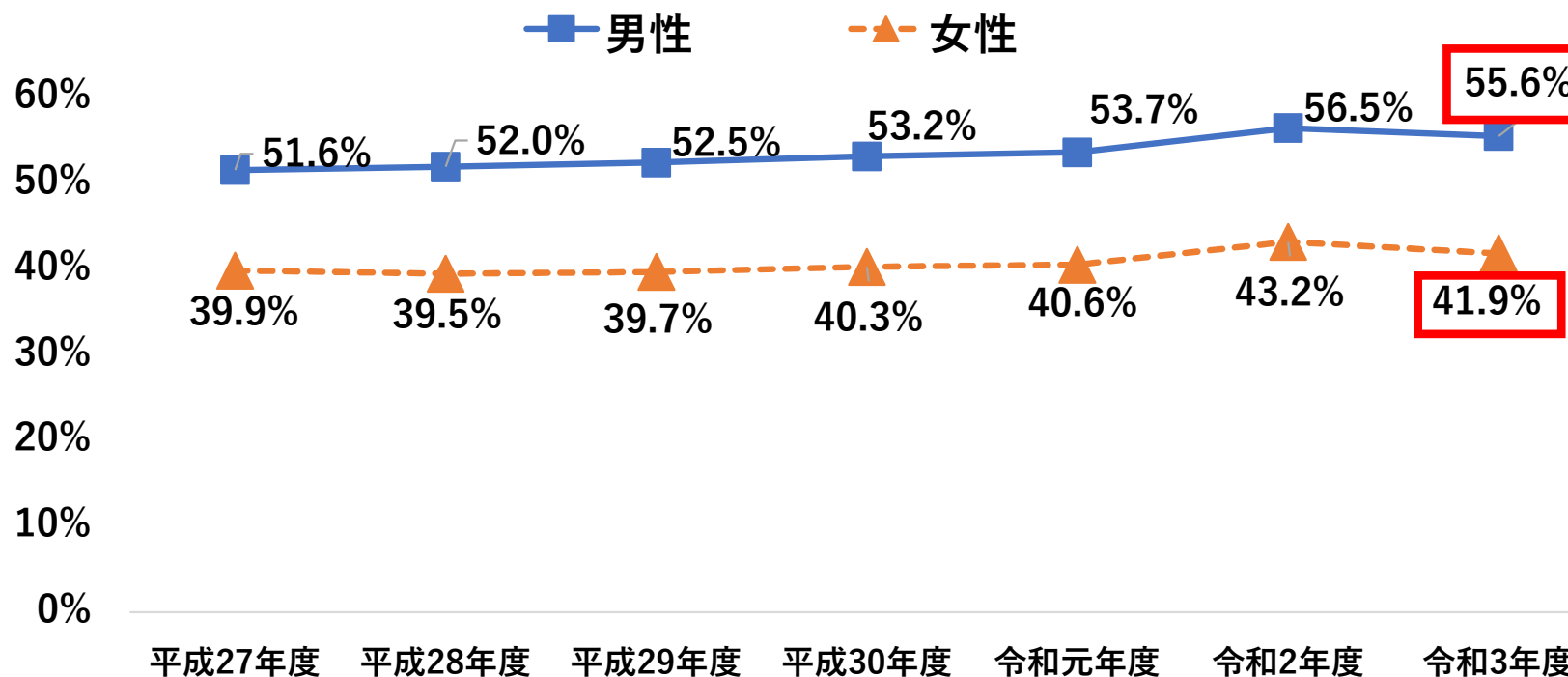
標準化死亡比：人口構成の違いを除去して、死亡率を比較するための指標
（全国値を100としている。）

出典：令和4年版 京都市衛生年報
人口動態統計報告 平成29～令和3年

○ “生活習慣病”に関するもの【循環器病】

- 循環器病の危険因子である高血圧について、京都市国保特定健診（40～74歳）では、有病者が男性55.6%、女性41.9%で、経年で大きな変化はない。

高血圧有病者の割合（性別・年次推移）



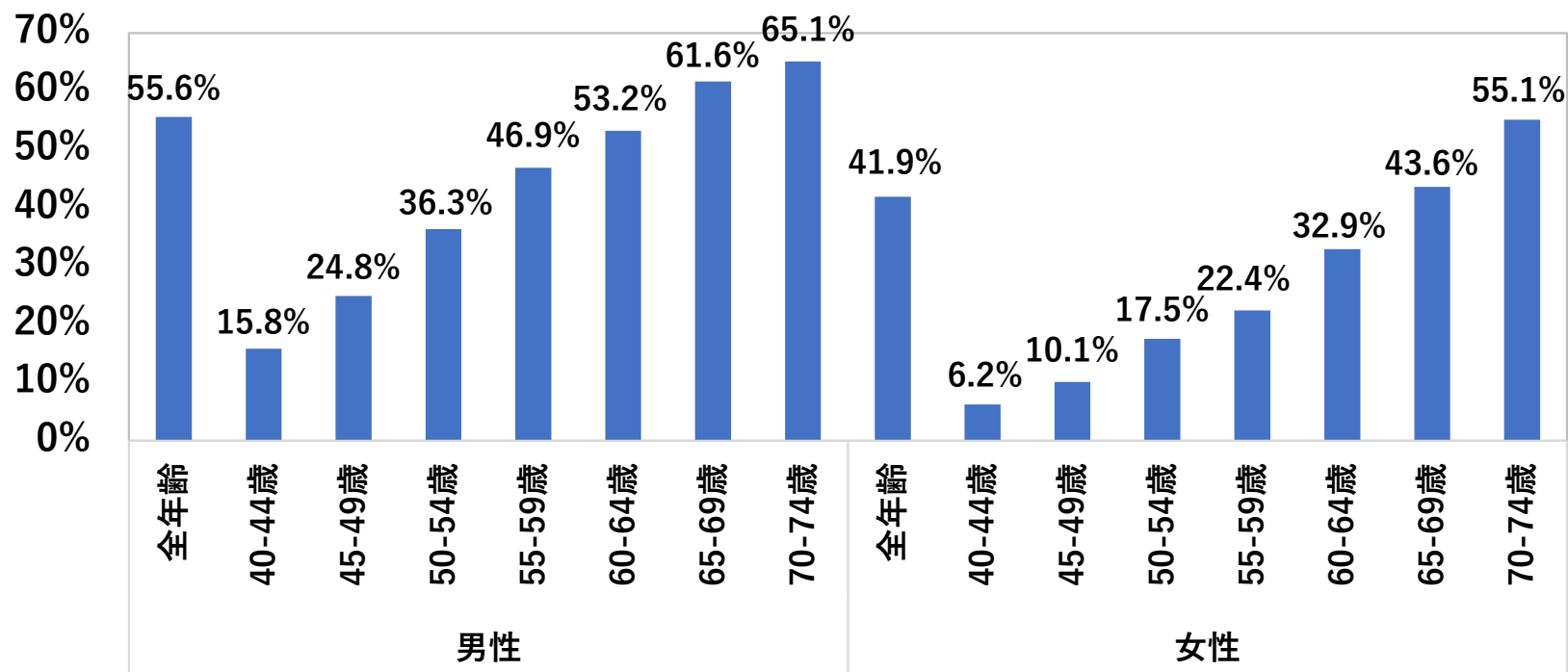
高血圧有病者：高血圧治療中または未治療の血圧140/90mmHg以上の者

出典：京都市国保特定健康診査（平成27～令和3年度）

○ “生活習慣病”に関するもの【循環器病】

- 循環器病の危険因子である高血圧について、京都市国保特定健診（40～74歳）では、有病者は加齢とともに増加している。

高血圧有病者の割合（性別・年齢階級別）

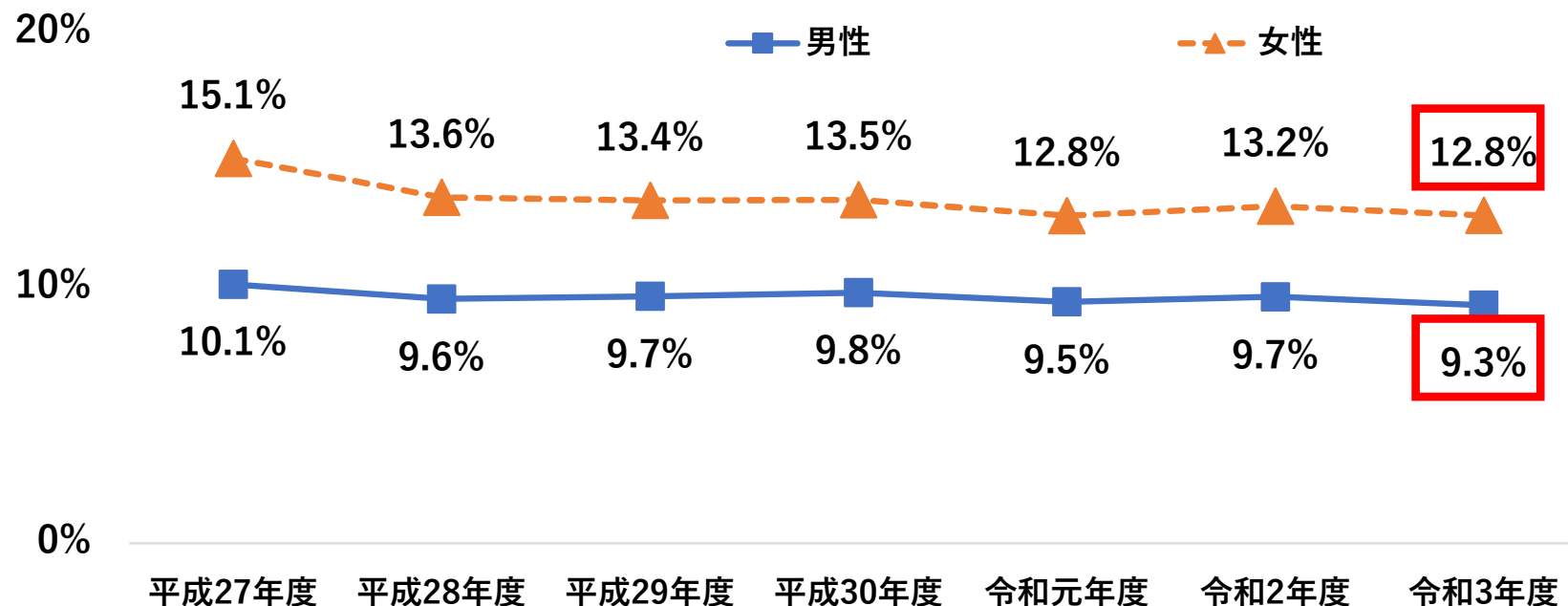


高血圧有病者：高血圧治療中または未治療の血圧140/90mmHg以上の者

○ “生活習慣病”に関するもの【循環器病】

- 循環器病の危険因子である脂質（L D L コレステロール）高値（160mg/dl 以上）の者は、京都市国保特定健診（40～74歳）では男性9.3%、女性12.8%で、経年で大きな変化はない。

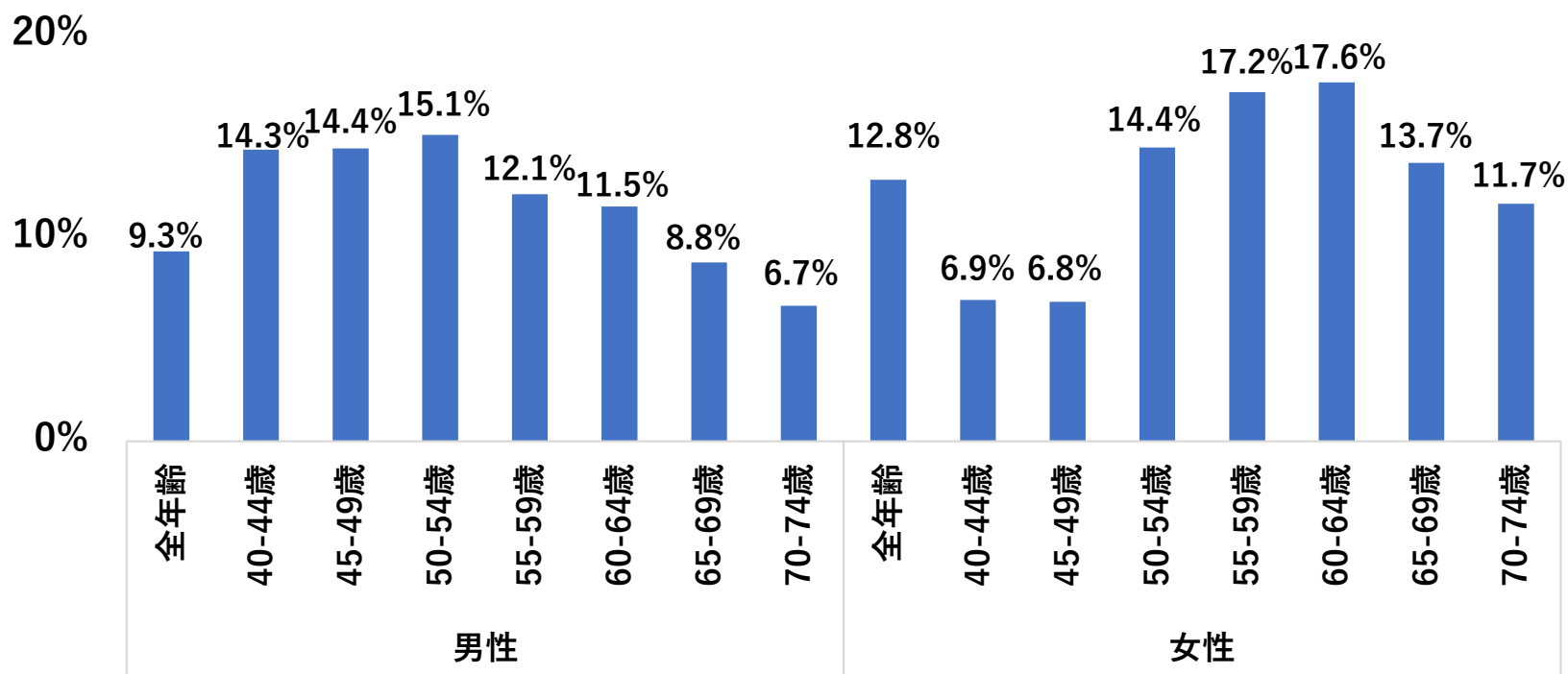
LDLコレステロール 160mg/dl以上の割合（性別・年次推移）



○ “生活習慣病”に関するもの【循環器病】

- 循環器病の危険因子である脂質（LDLコレステロール）高値（160mg/dl以上）の者は、京都市国保特定健診（40～74歳）では、男性では40～50歳代、女性では50～60歳代で多くみられる。

LDLコレステロール 160mg/dl以上（性別・年齢階級別）

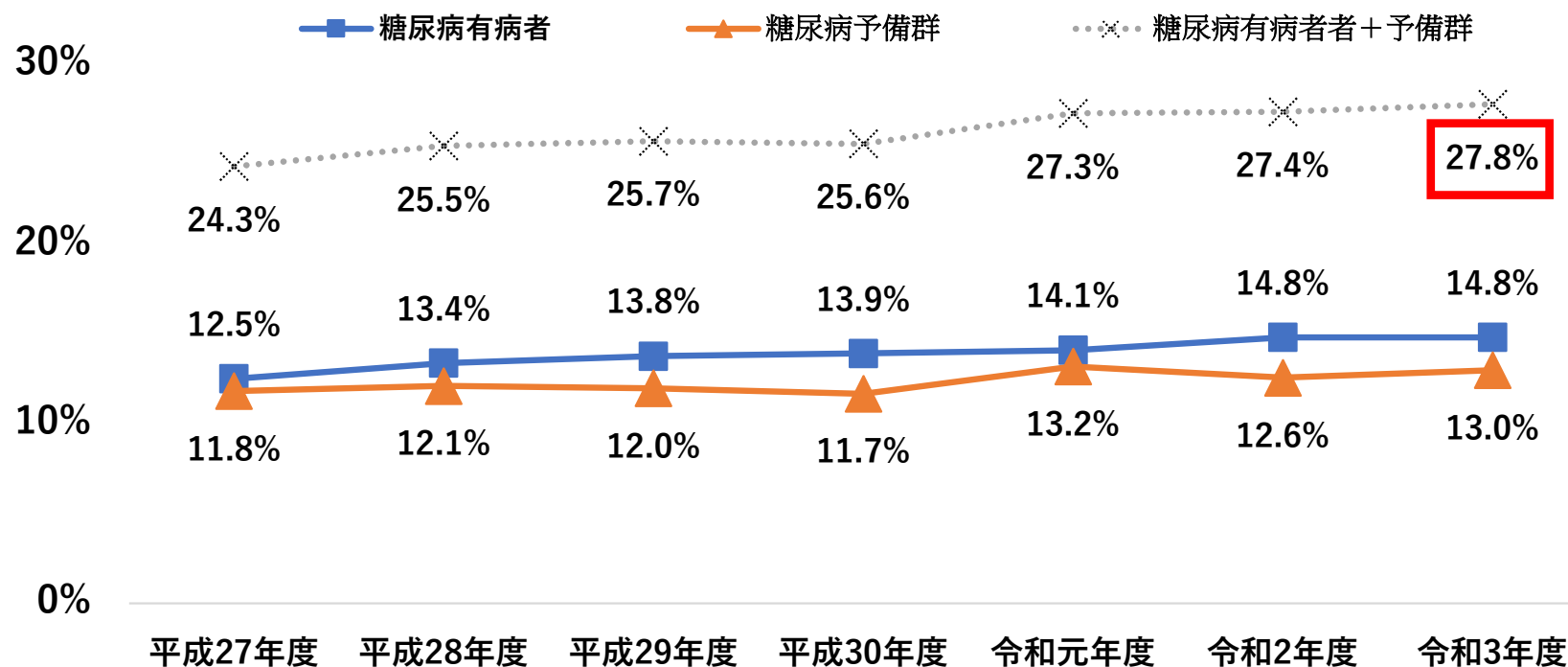


出典：京都市国保特定健康診査（令和3年度）

○ “生活習慣病”に関するもの【糖尿病】

- 京都市国保特定健診（40～74歳）では、糖尿病有病者＋予備群は男性で27.8%であり、およそ4人に1人が該当し、経年で微増している。

男性の糖尿病有病者、予備群の割合（年次推移）



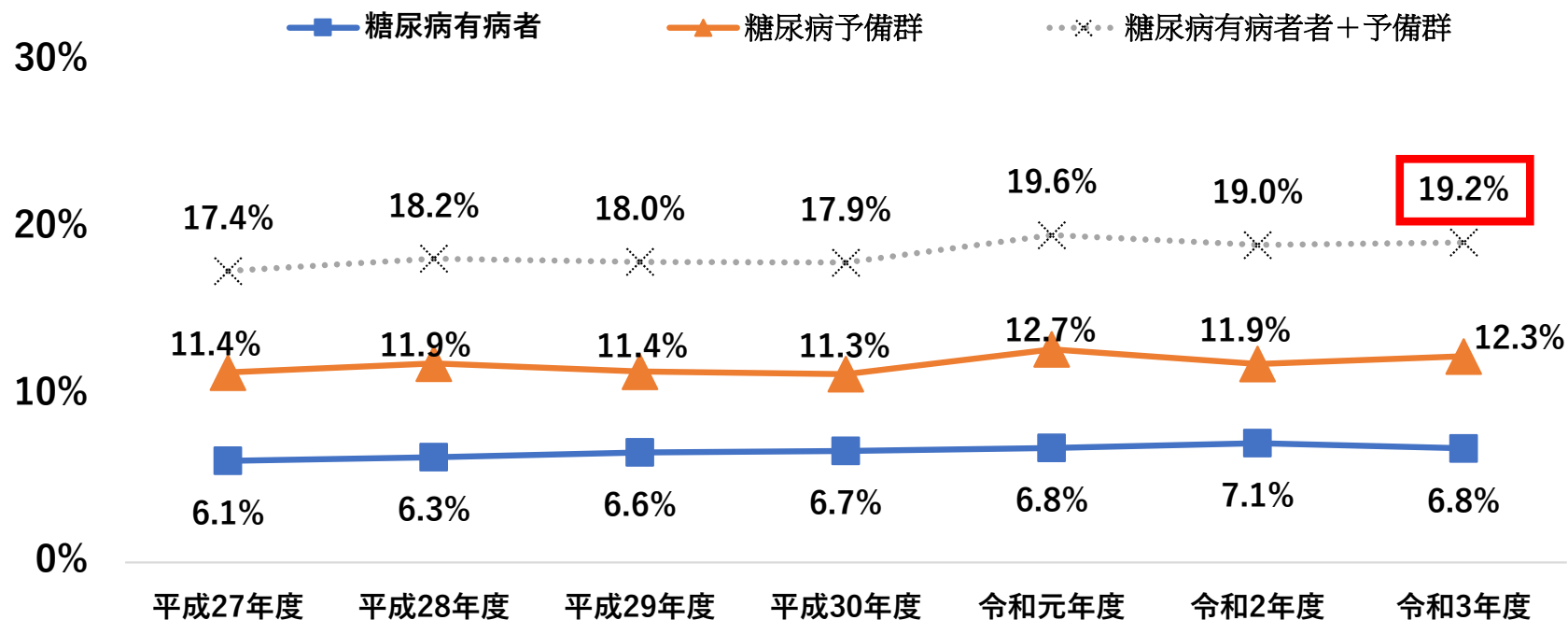
* 糖尿病有病者（糖尿病が強く疑われる者）：HbA1c6.5%以上または糖尿病治療中

* 糖尿病予備群（糖尿病の可能性を否定できない者）：HbA1c6.0～6.4%（糖尿病治療中を除く）

○ “生活習慣病”に関するもの【糖尿病】

- 京都市国保特定健診（40～74歳）では、糖尿病有病者＋予備群は女性では19.2%でおよそ5人に1人が該当し、経年で大きな変化はない。

女性の糖尿病有病者、予備群の割合（年次推移）



* 糖尿病有病者（糖尿病が強く疑われる者）：HbA1c6.5%以上または糖尿病治療中

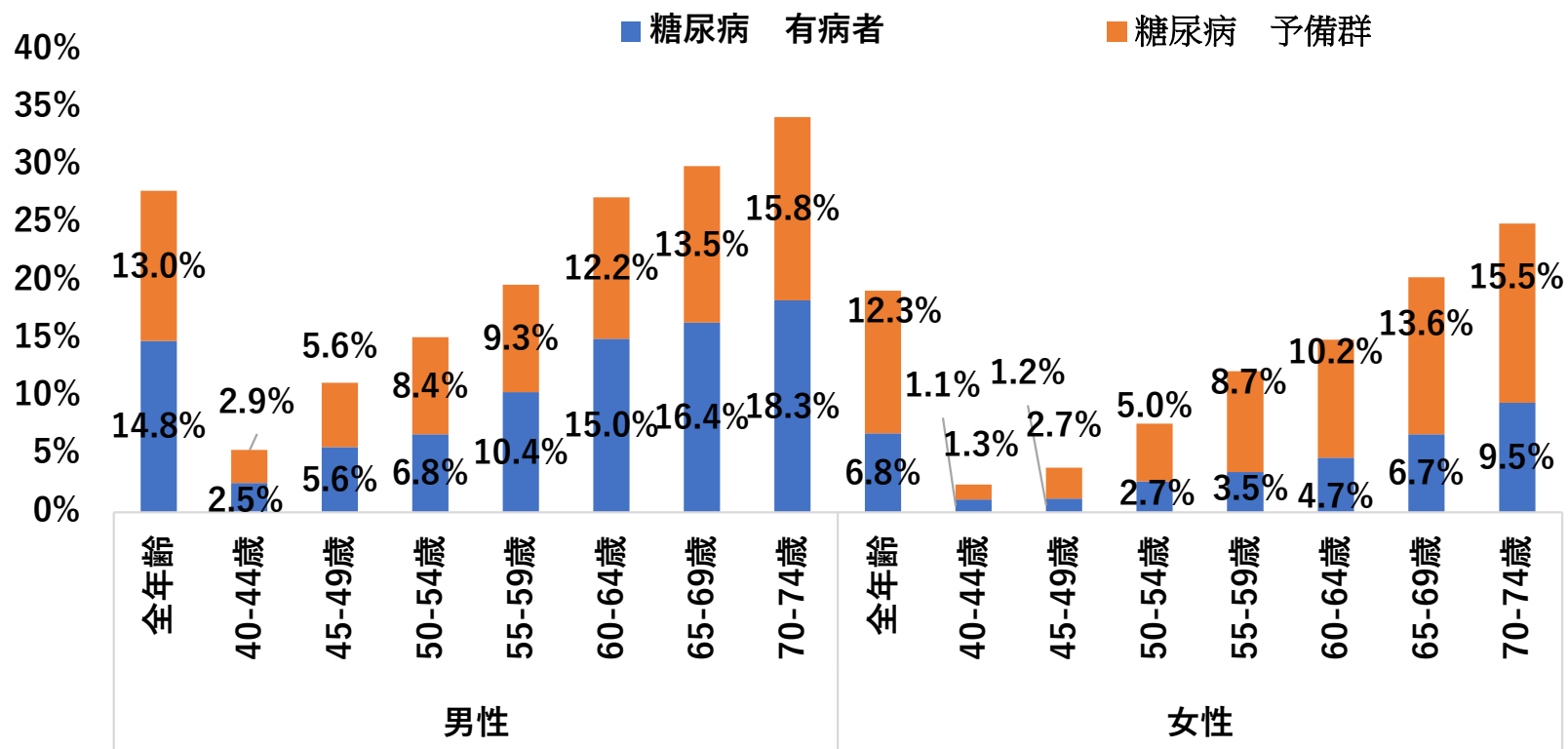
* 糖尿病予備群（糖尿病の可能性を否定できない者）：HbA1c6.0～6.4%（糖尿病治療中を除く）

出典：京都市国保特定健康診査（平成27～令和3年度）

“生活習慣病”に関するもの【糖尿病】

- 京都市国保特定健診（40～74歳）では、糖尿病の有病者、予備群は、男女とも加齢とともに増加している。

糖尿病有病者・予備群の割合（性別・年齢階級別）



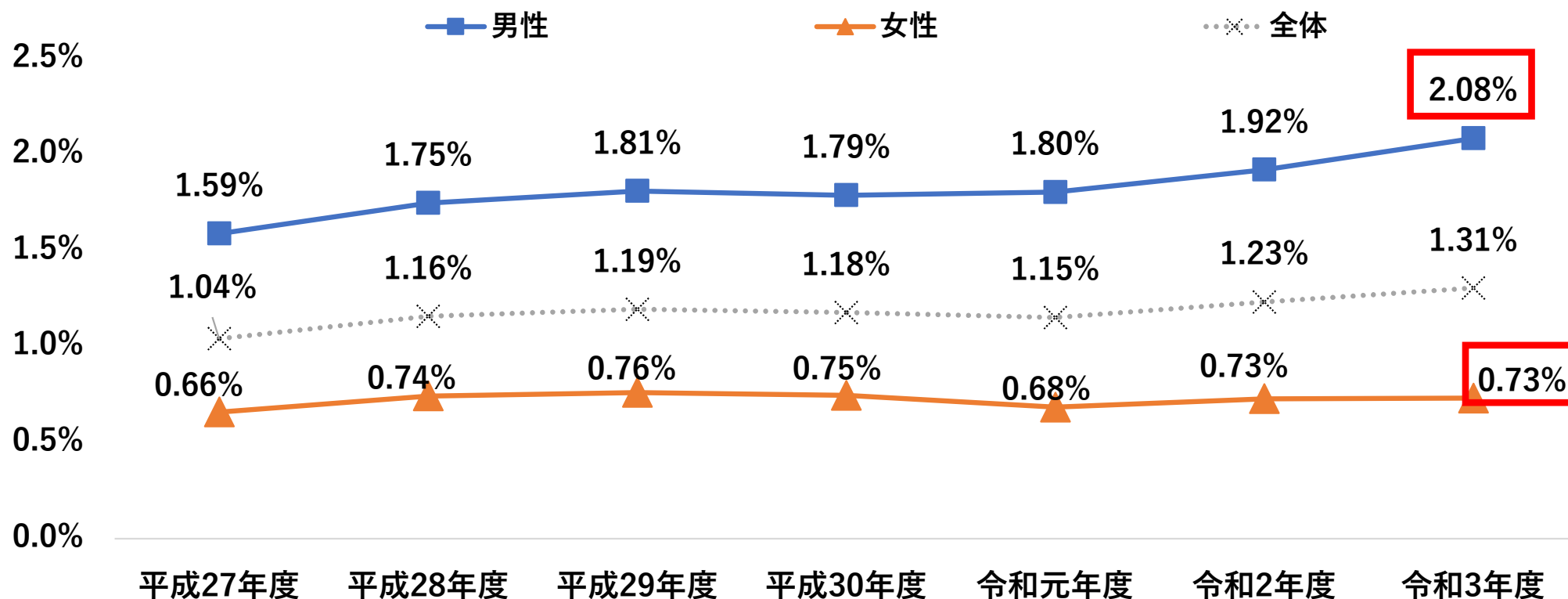
* 糖尿病有病者（糖尿病が強く疑われる者）：HbA1c6.5%以上または糖尿病治療中

* 糖尿病予備群（糖尿病の可能性を否定できない者）：HbA1c6.0～6.4%（糖尿病治療中を除く）

“生活習慣病”に関するもの【糖尿病】

- 京都市国保特定健診（40～74歳）では、血糖コントロール不良（HbA1c8.0%以上）の者の割合は、男性では2.08%、経年で増加、女性では0.73%、経年で大きな変化はない。

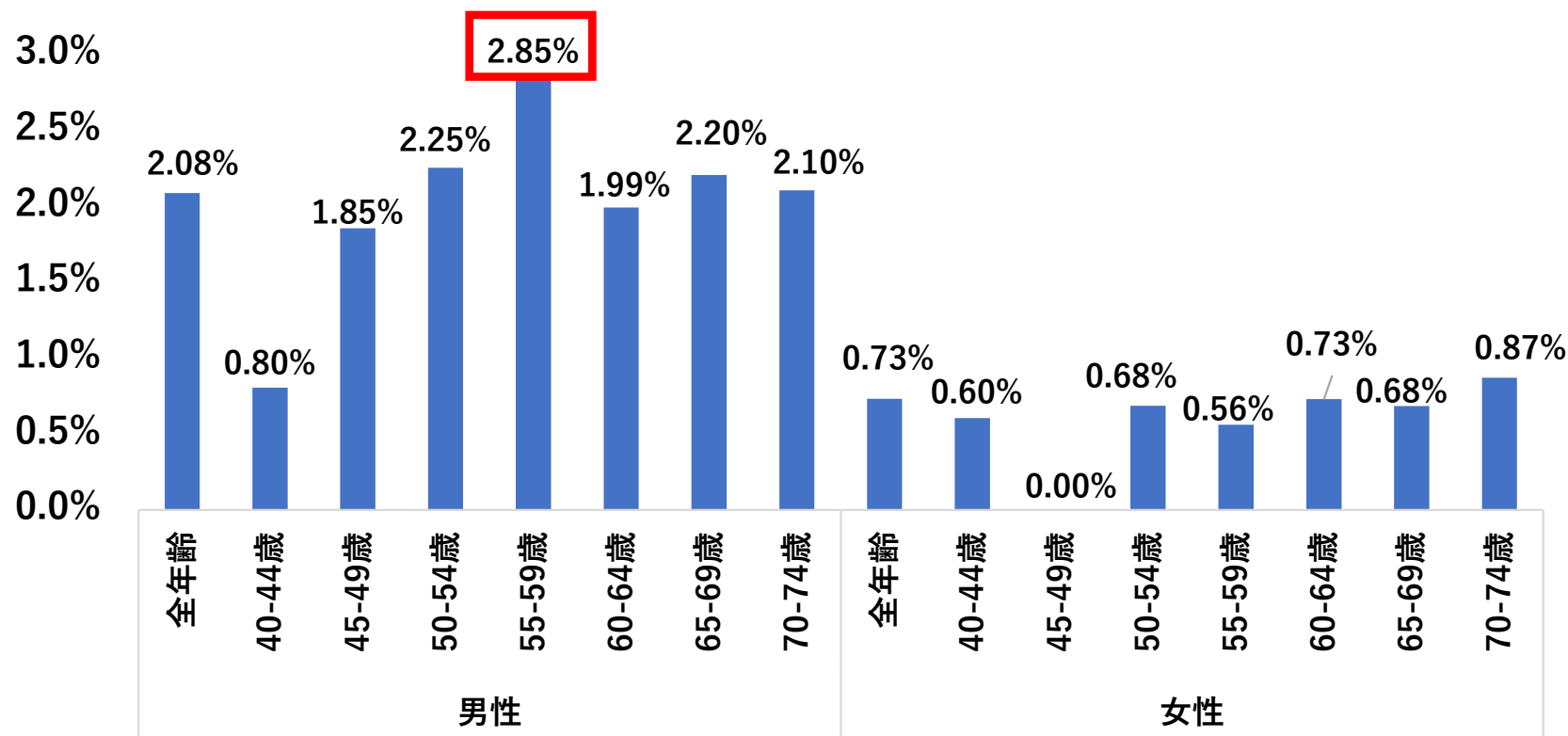
HbA1c 8.0%以上の割合（年次推移）



○ “生活習慣病”に関するもの【糖尿病】

- 京都市国保特定健診（40～74歳）では、血糖コントロール不良（HbA1c8.0%以上）の者の割合は、男性では55～59歳でやや多い。

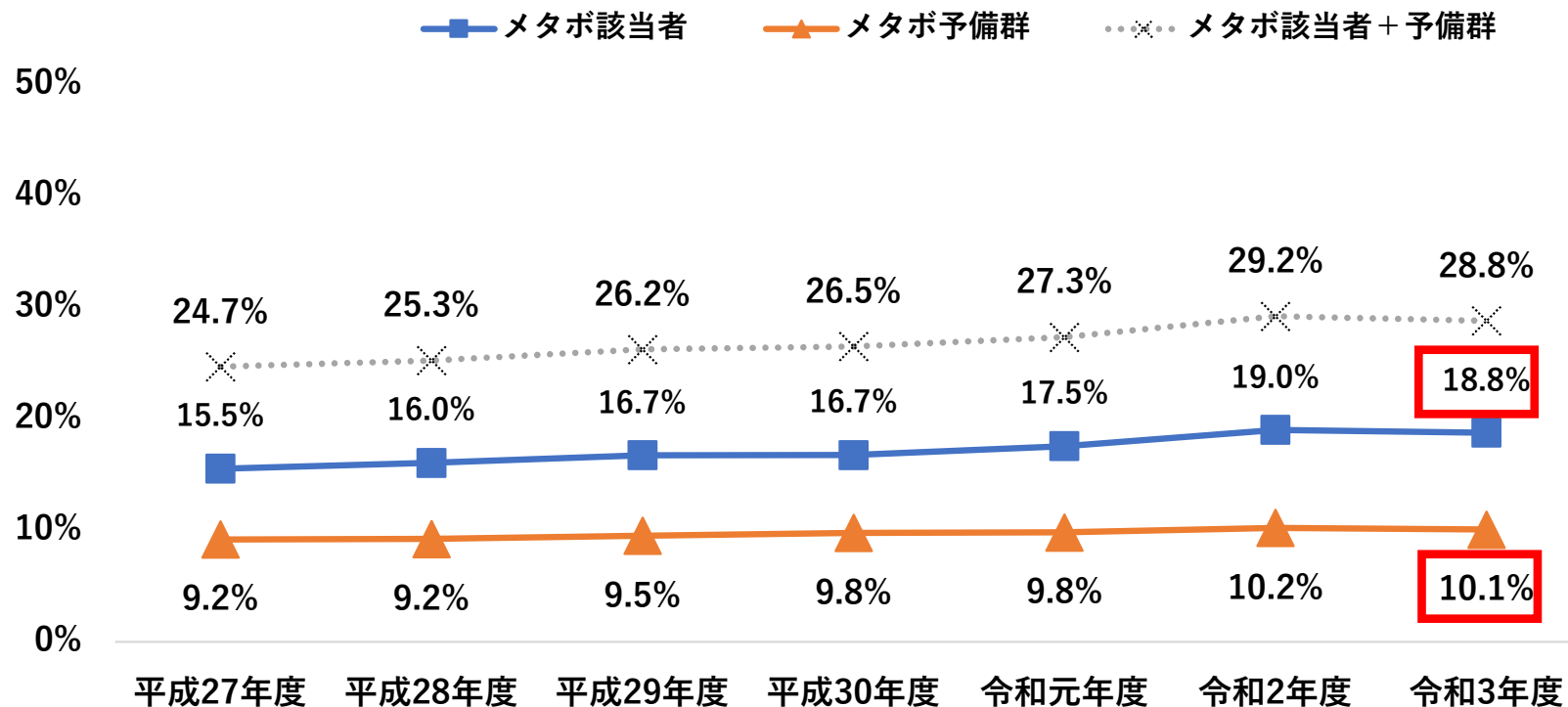
HbA1c 8.0%以上の割合（性別・年齢階級別）



○ “生活習慣病”に関するもの【メタボリックシンドローム】

● 京都市国保特定健診（40～74歳）では、メタボリックシンドローム該当者が18.8%、予備群が10.1%であり、微増または横ばいである。

全体（男女計）のメタボリックシンドローム該当者・予備群の割合（年次推移）

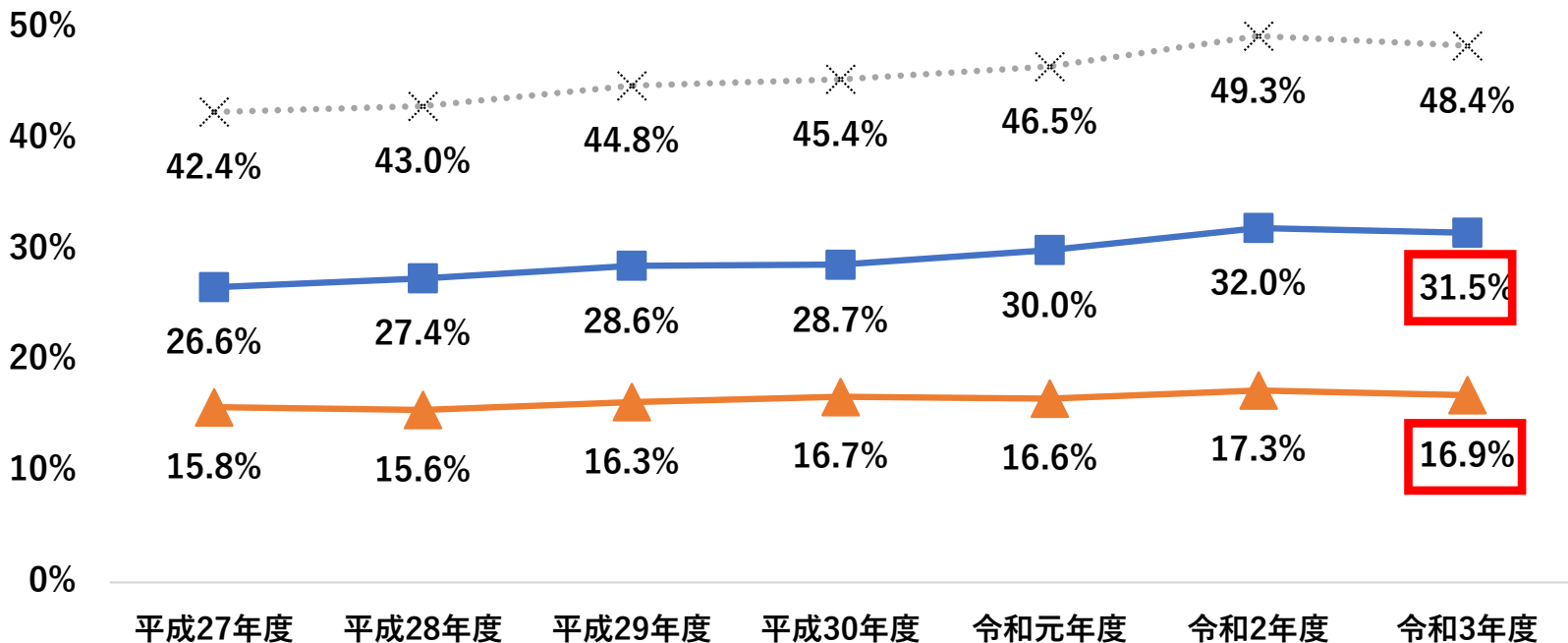


資料：平成27年度～令和3年度 京都市国保特定健康診査

● 京都市国保特定健診（40～74歳）の男性では、メタボリックシンドローム該当者が31.5%、予備群が16.9%であり、経年で微増または横ばいである。

男性のメタボリックシンドローム該当者・予備群の割合（年次推移）

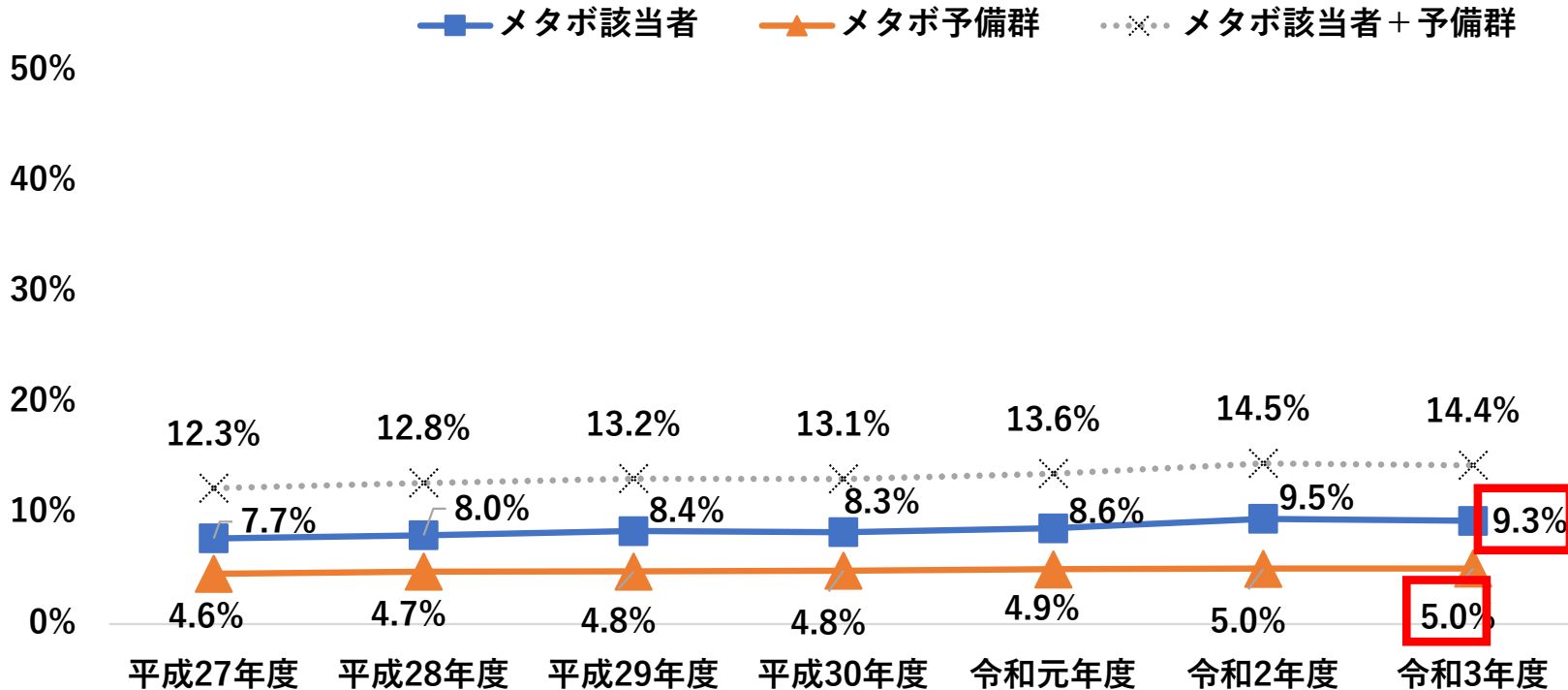
■ メタボ該当者
 ▲ メタボ予備群
 ● メタボ該当者 + 予備群



出典：京都市国保特定健康診査（平成27～令和3年度）

- 京都市国保特定健診（40～74歳）の女性では、メタボリックシンドローム該当者が9.3%、予備群が5.0%であり、経年で大きな変化はない。

女性のメタボリックシンドローム該当者・予備群の割合（年次推移）

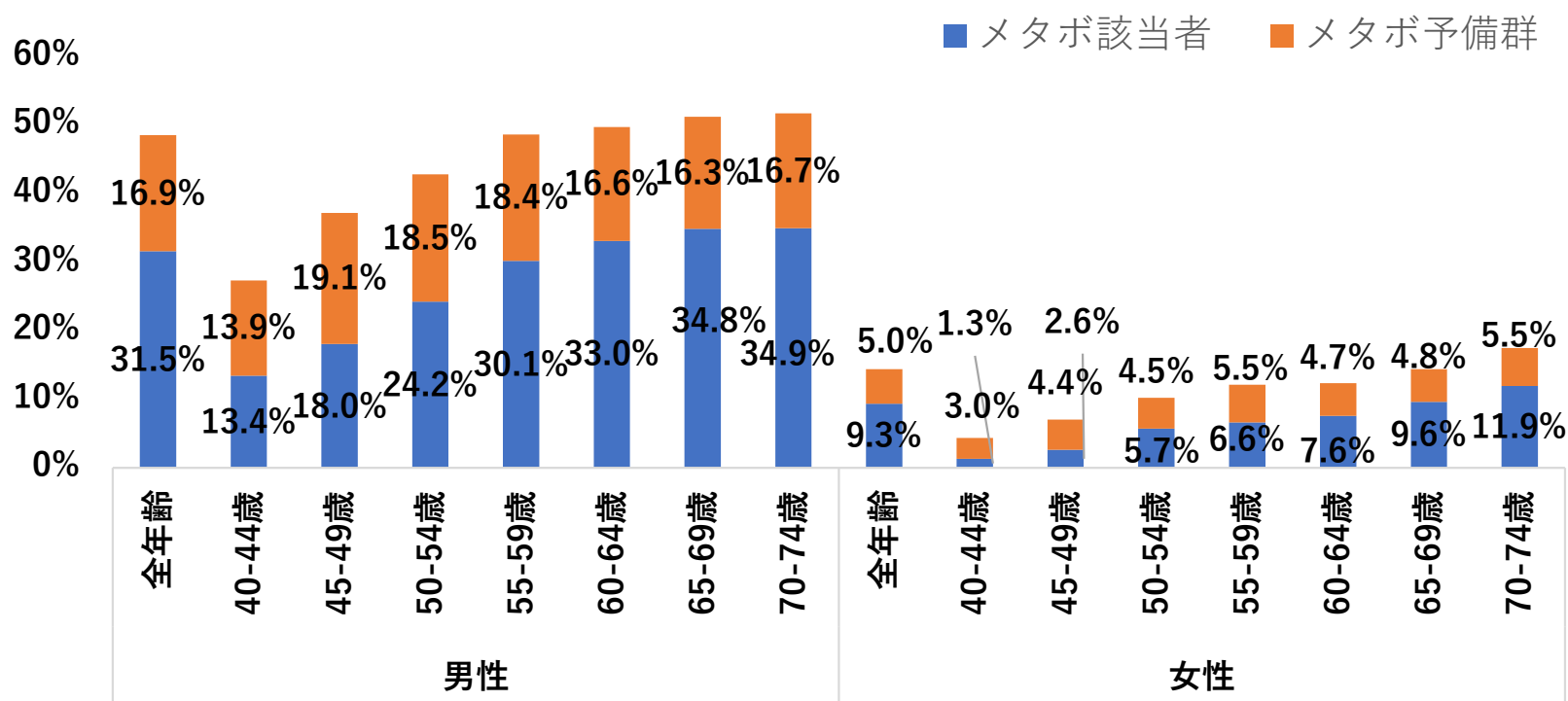


出典：京都市国保特定健康診査（平成27～令和3年度）

○ “生活習慣病”に関するもの【メタボリックシンドローム】

- 京都市国保特定健診（40～74歳）におけるメタボリックシンドロームの該当者＋予備群の割合は、男性では、40歳代から増加し、55歳以降はほぼ一定である。女性では、加齢とともに徐々に増加している。

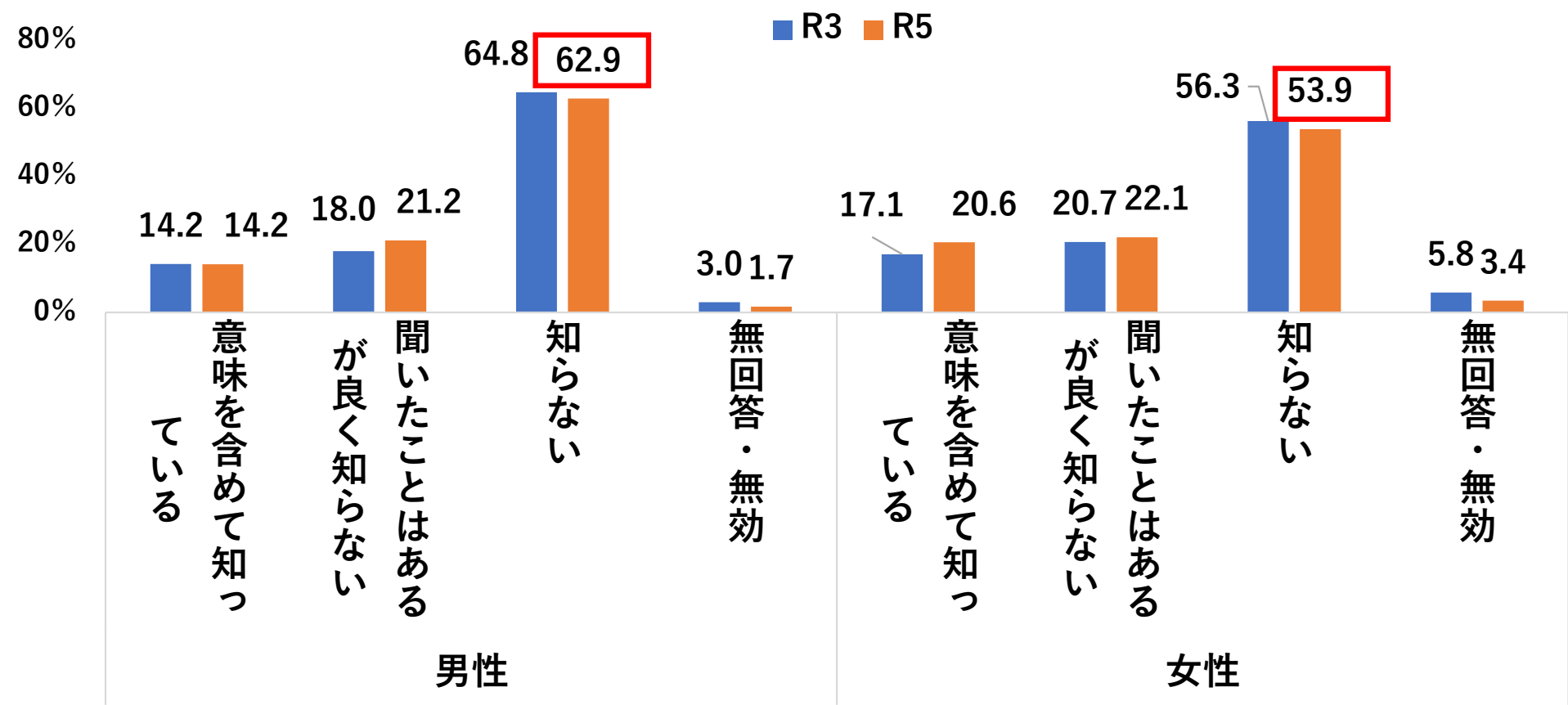
メタボリックシンドローム該当者・予備群の割合（性別・年齢階級別）



○ “生活習慣病”に関するもの【COPD（慢性閉塞性肺疾患）】

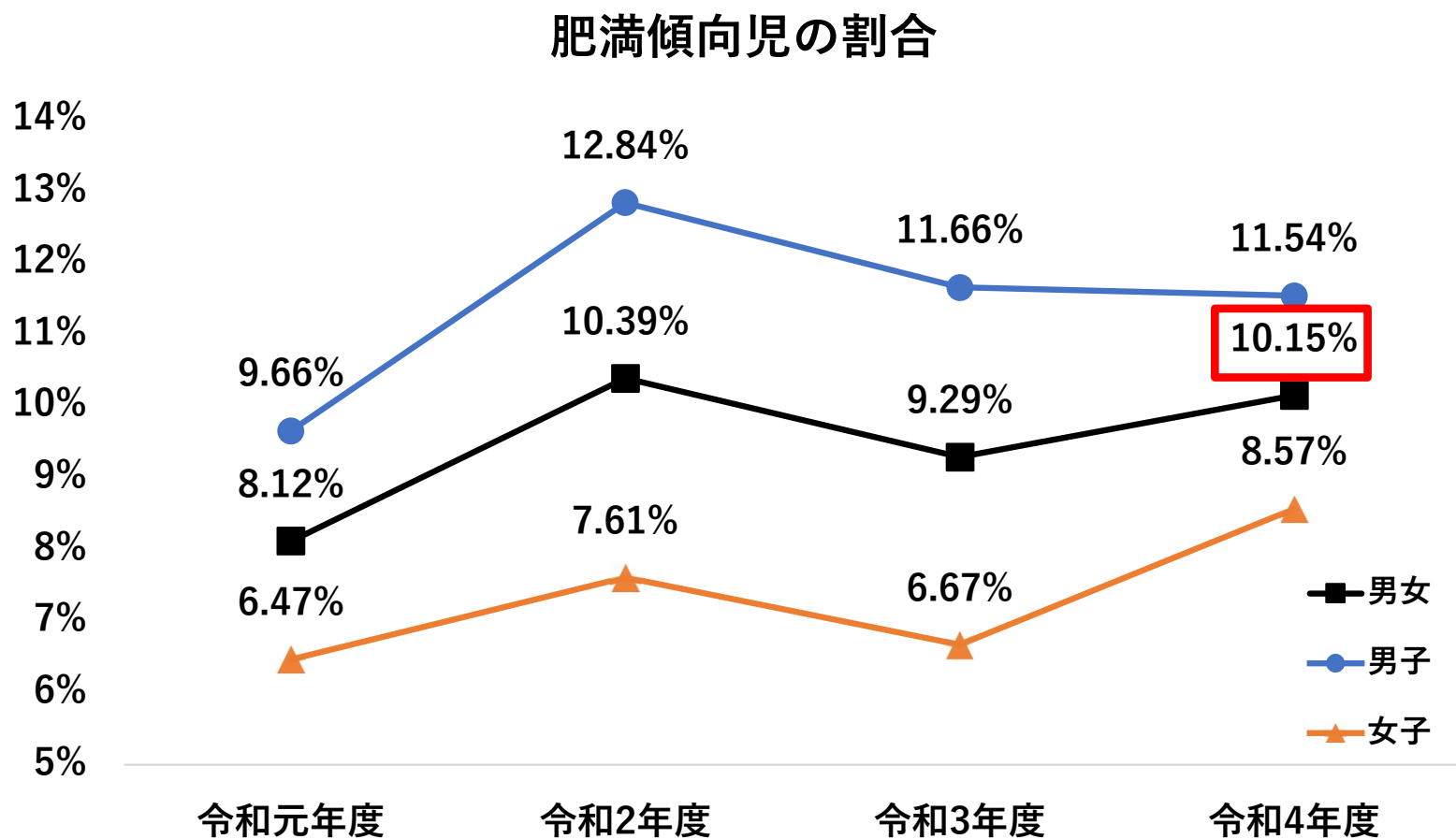
● 男性の62.9%、女性の53.9%がCOPDという言葉や意味を知らず、経年で大きな変化はない。

COPDに関する言葉の理解



○ “ライフコース”に関するもの【子ども】

● 児童（10歳 小学5年生）における肥満傾向児の割合は、10.15%であり、経年で増加している。

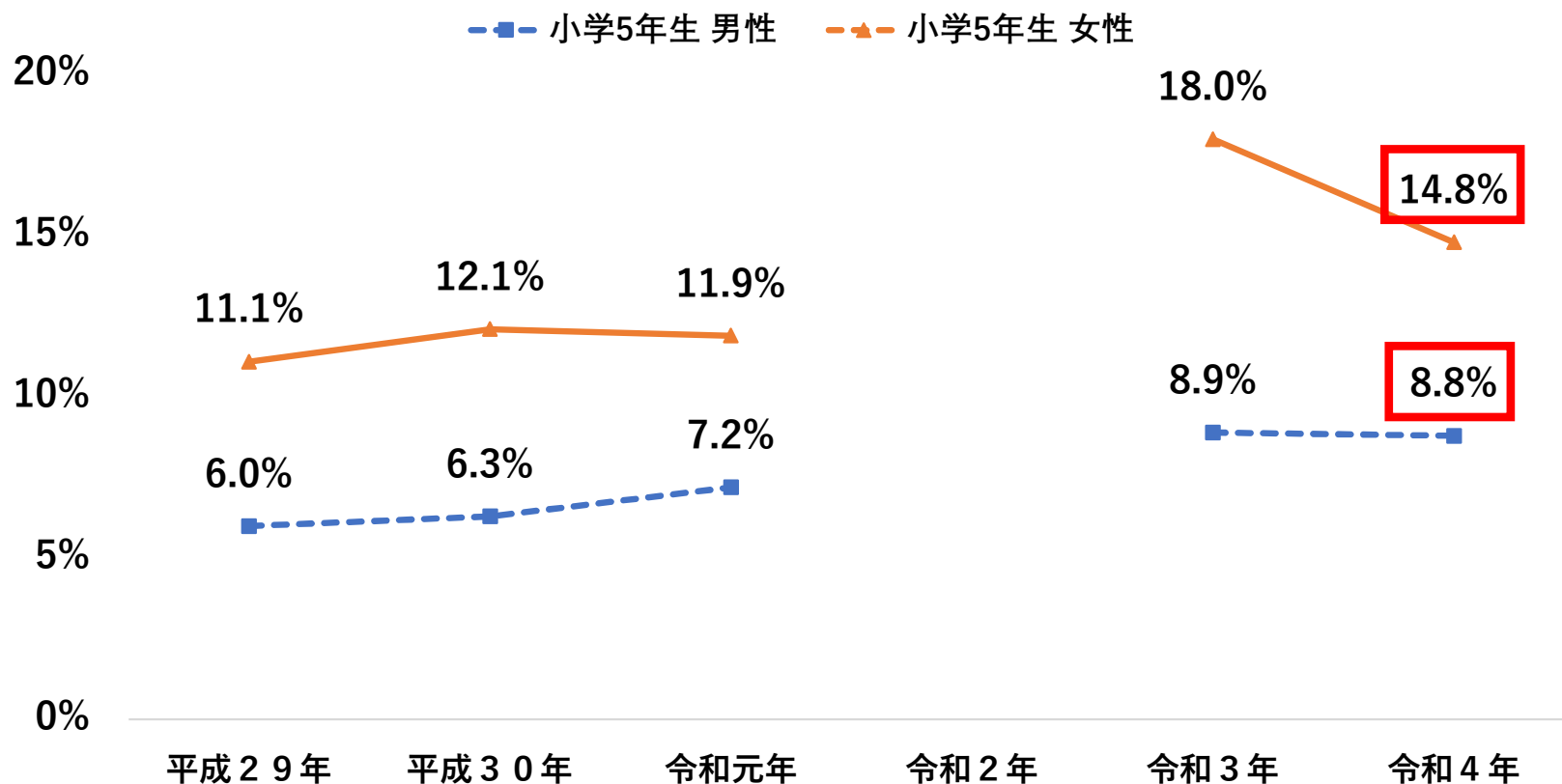


出典：「京都市立幼稚園・学校」幼児・児童・生徒定期健康診断集計表（令和元～令和4年度）

○ “ライフコース”に関するもの【子ども】

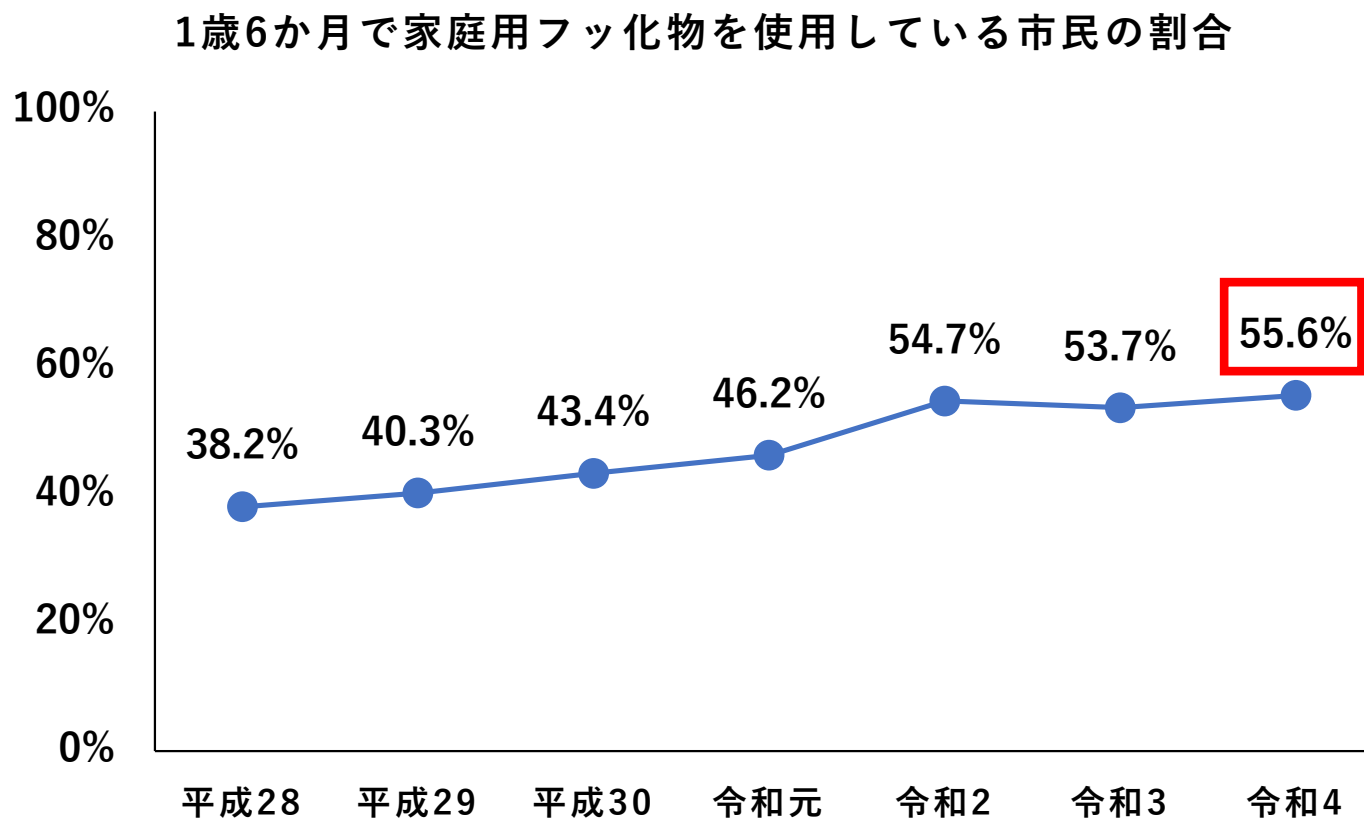
- 京都市立の小学生男子の8.8%、小学生女子の14.8%が、1週間の総運動時間が「60分未満」である。

1 週間の総運動時間が「60分未満」の割合



○ “ライフコース”に関するもの【子ども】

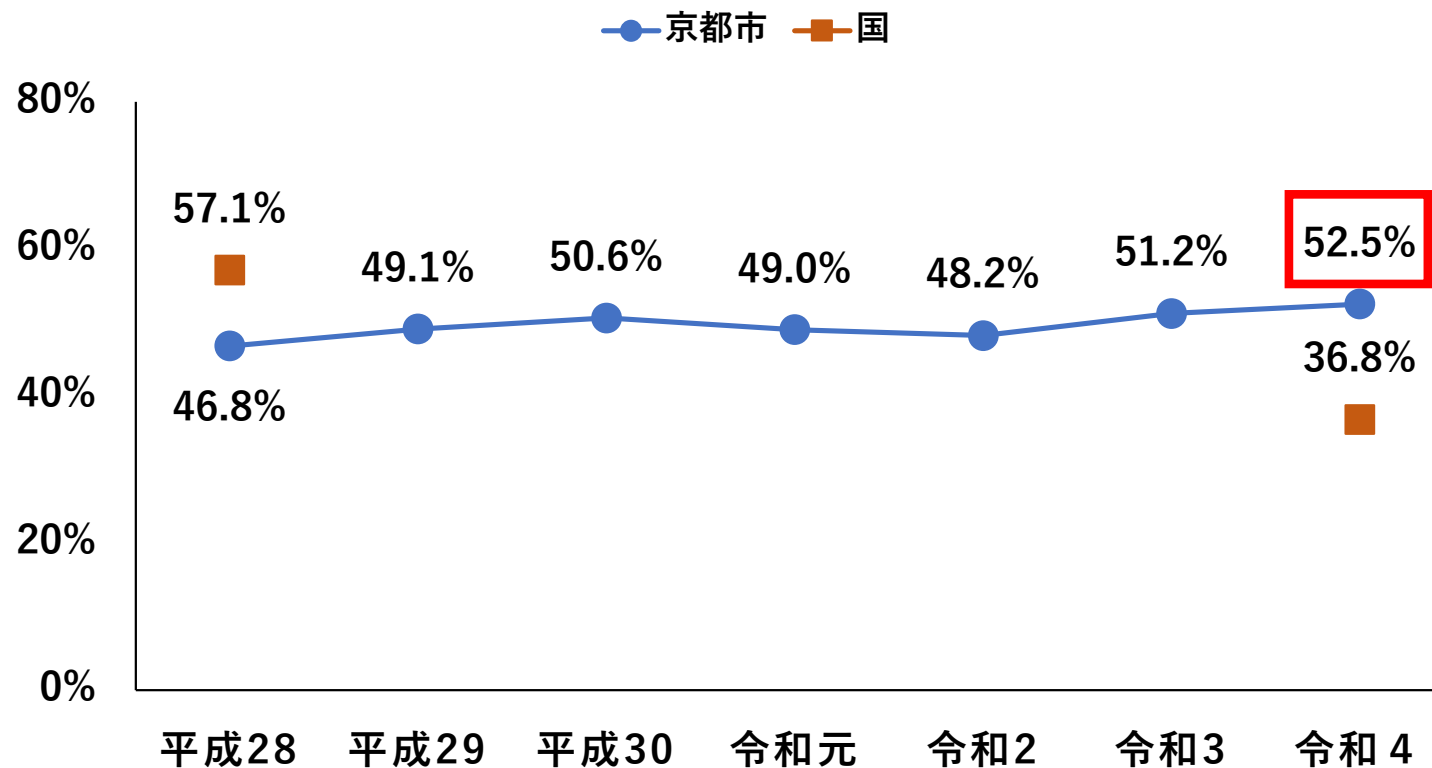
- むし歯予防のための家庭用フッ化物を使用している1歳6か月児は55.6%である。



○ “ライフコース”に関するもの【子ども】

- フッ化物歯面塗布を経験している3歳児（3歳での京都市フッ化物歯面塗布事業の受診票利用者率）は52.5%である。

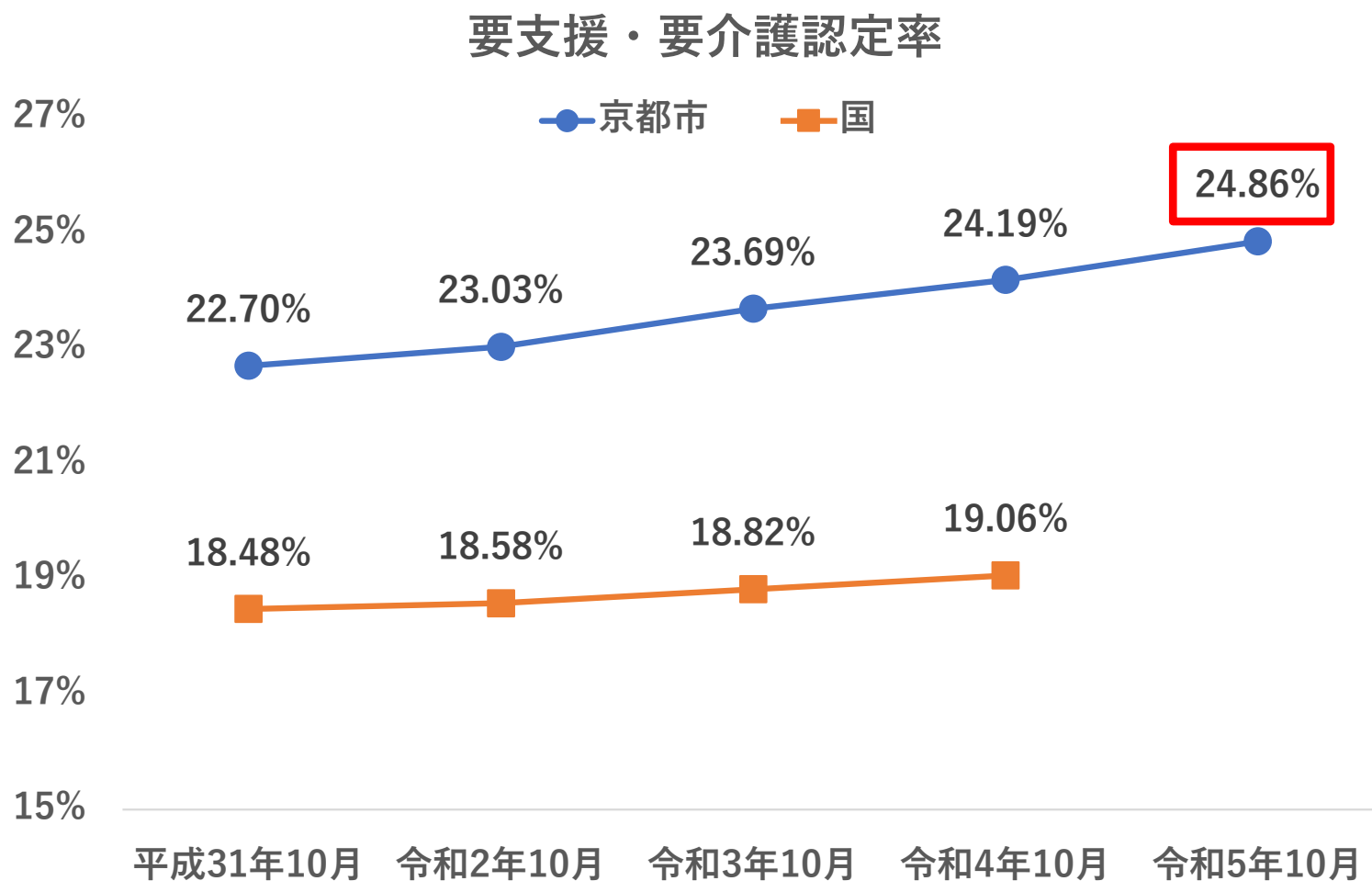
3歳でフッ化物歯面塗布を受けたことのある市民の割合



出典：京都市フッ化物歯面塗布事業実績（平成28～令和4年度）
歯科疾患実態調査（平成28・令和4年度）

○ “ライフコース”に関するもの【高齢期】

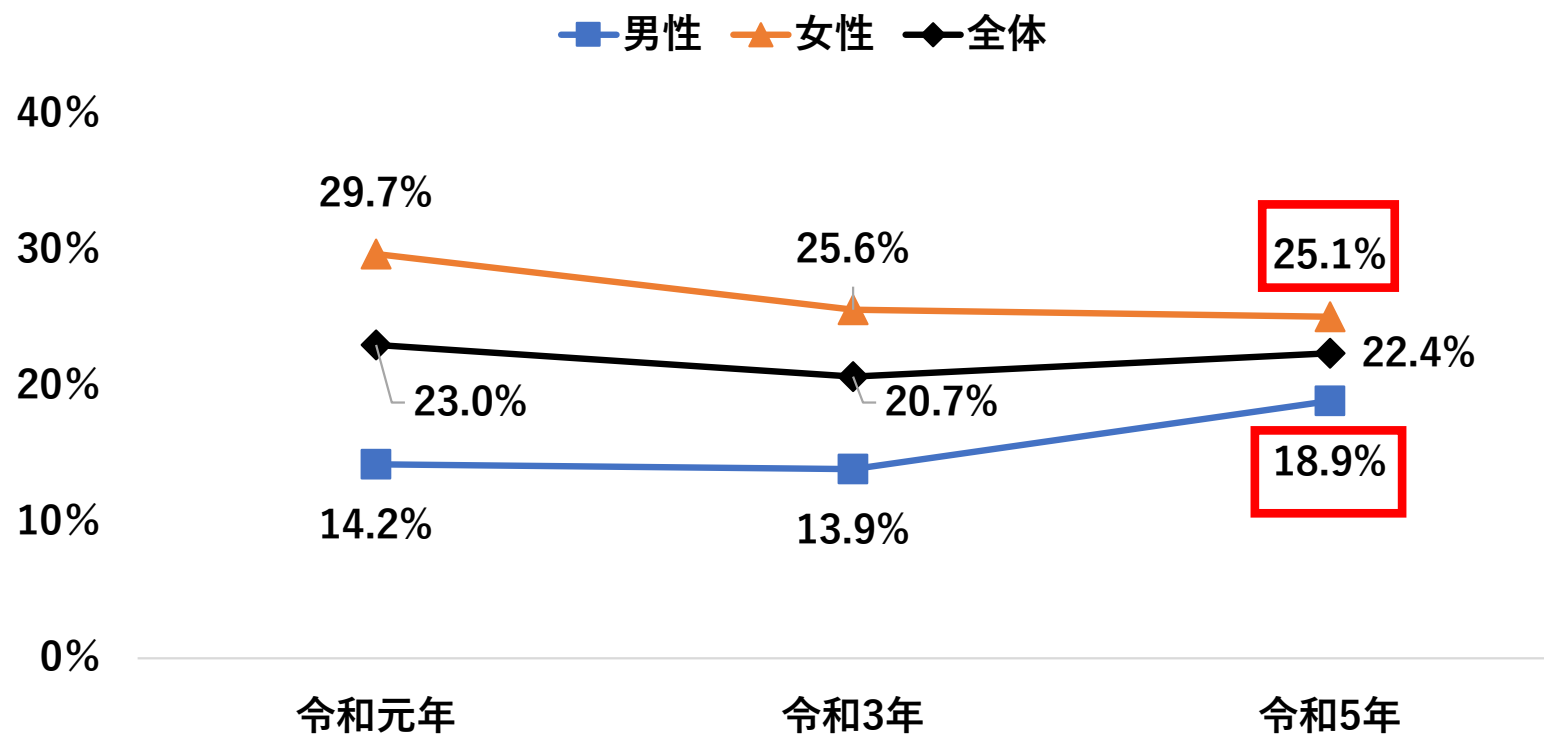
- 要支援・要介護認定者は年々増加し、要支援・要介護認定率は24.86%で、全国平均と比較し高い。



○ “ライフコース”に関するもの【高齢期】

- 高齢者（65歳以上）の男性の18.9%、女性の25.1%が低栄養傾向であり、経年で大きな変化はない。

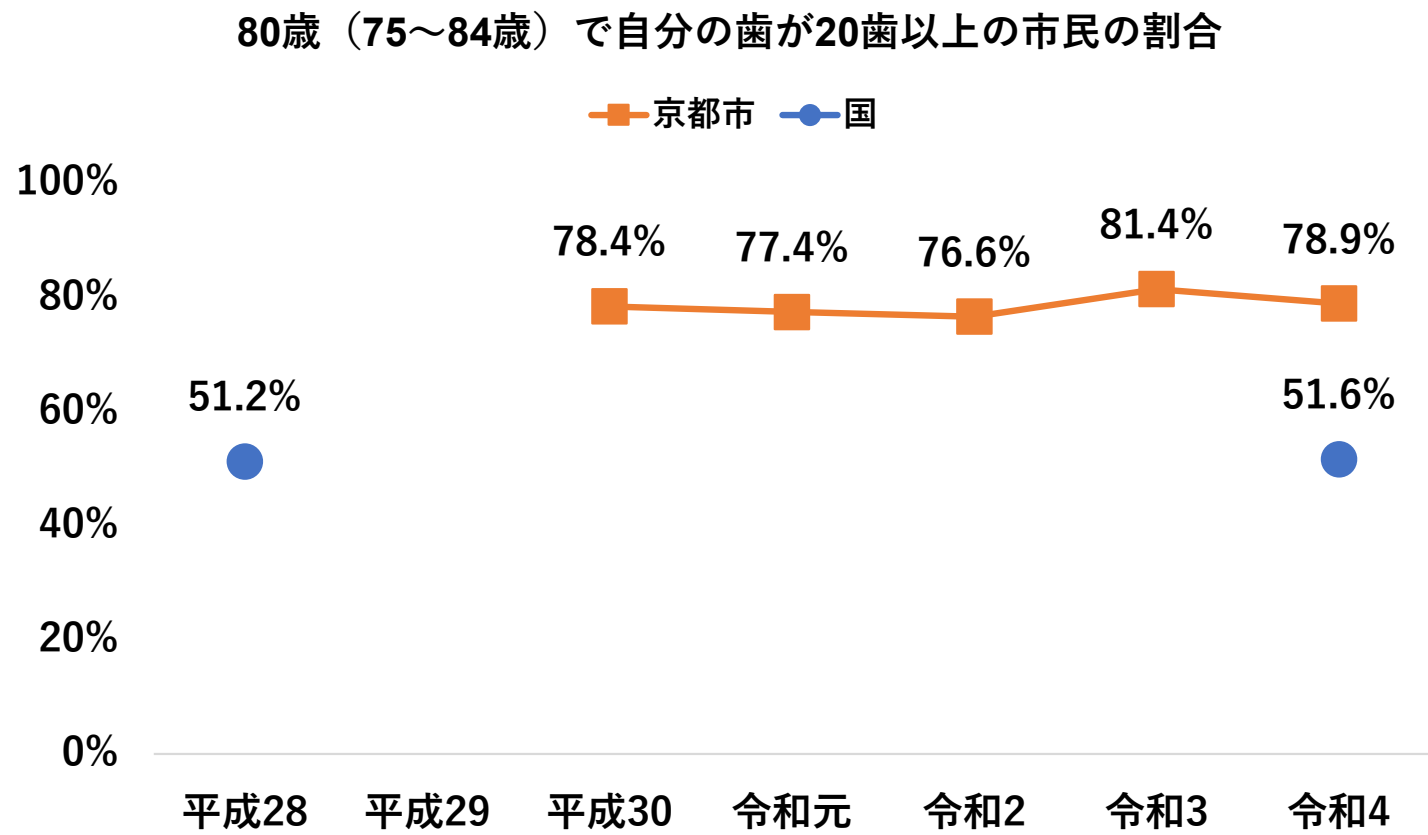
低栄養傾向（BMI ≤ 20）の高齢者の割合



出典：京都市健康づくり・口腔保健・食育アンケート（令和元・3・5年度）

○ “ライフコース”に関するもの【高齢期】

● 80歳（75～84歳）で自分の歯が20歯以上市民の割合は横ばいである。



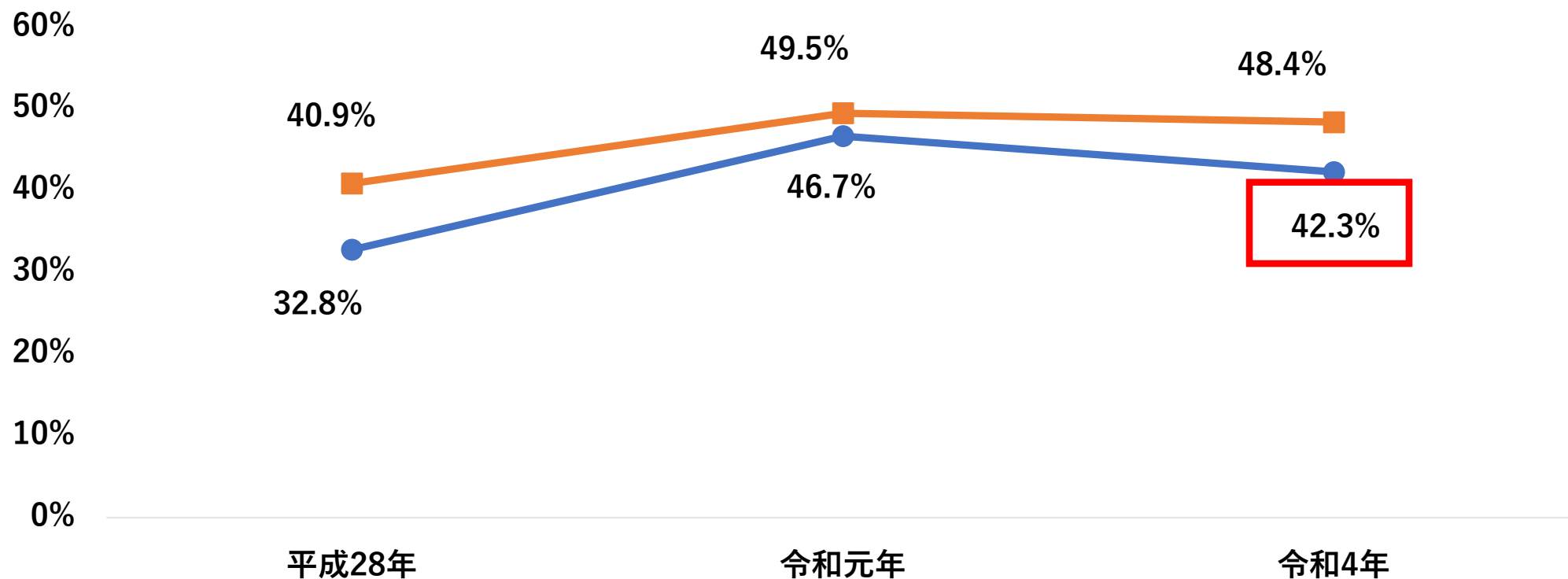
出典：京都市歯科健診事業集計データ（平成30～令和4年度）
歯科疾患実態調査（平成28・令和4年度）

○ “ライフコース”に関するもの【健（検）診】

- 胃がん、肺がん、大腸がん、子宮頸がん、乳がん検診において、全国平均と比較して受診率が低い。

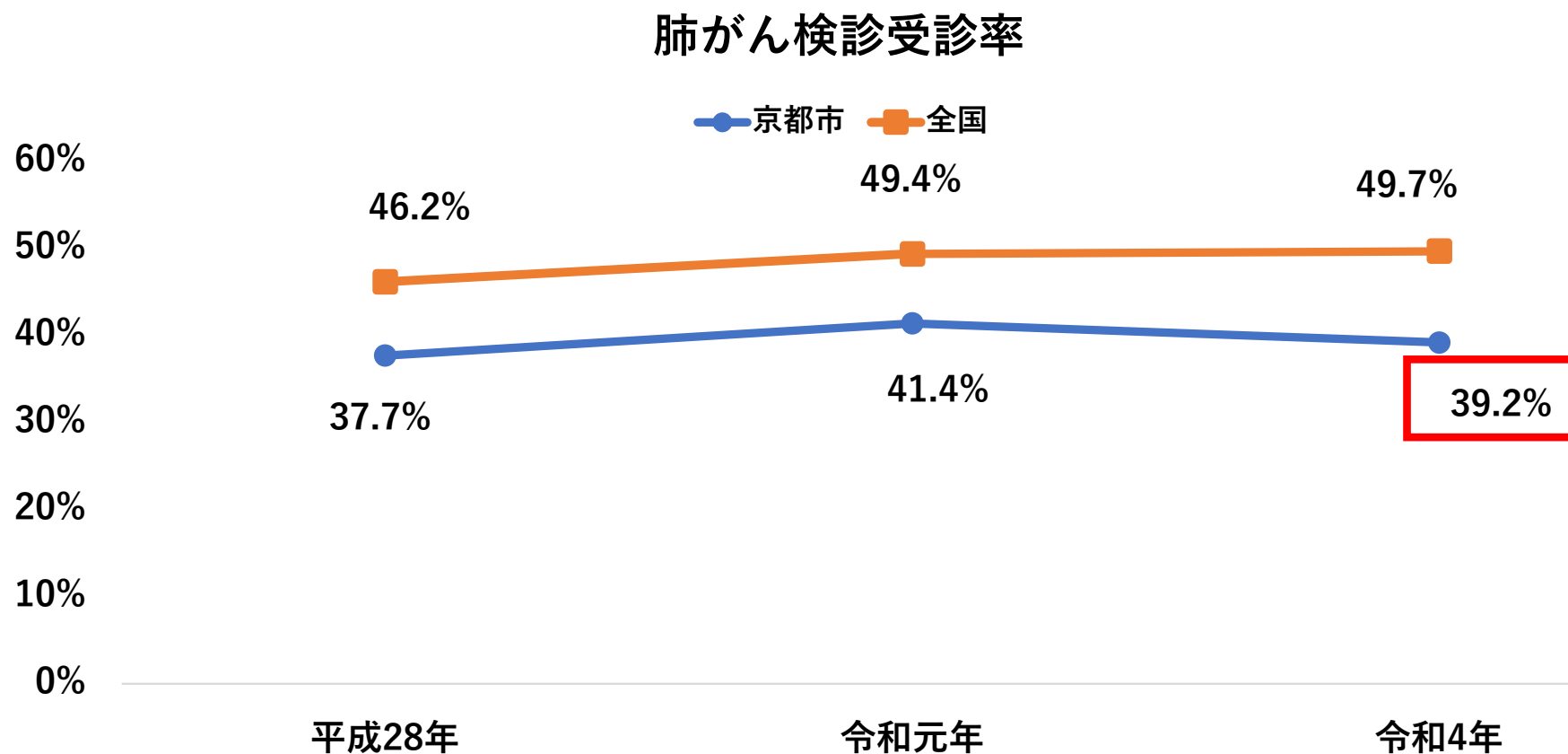
胃がん検診受診率

● 京都市 ■ 全国



○ “ライフコース”に関するもの【健（検）診】

- 胃がん、肺がん、大腸がん、子宮頸がん、乳がん検診において、全国平均と比較して受診率が低い。

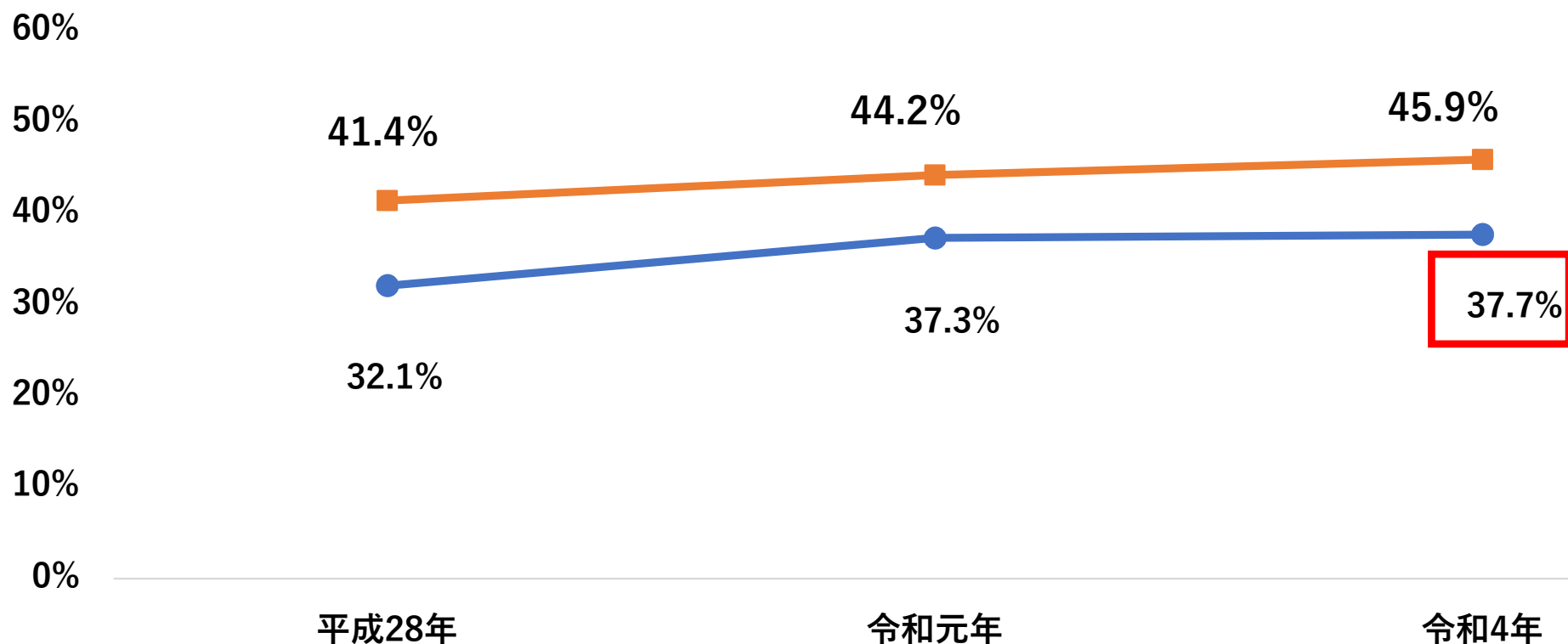


○ “ライフコース”に関するもの【健（検）診】

- 胃がん、肺がん、大腸がん、子宮頸がん、乳がん検診において、全国平均と比較して受診率が低い。

大腸がん検診受診率

● 京都市 ■ 全国

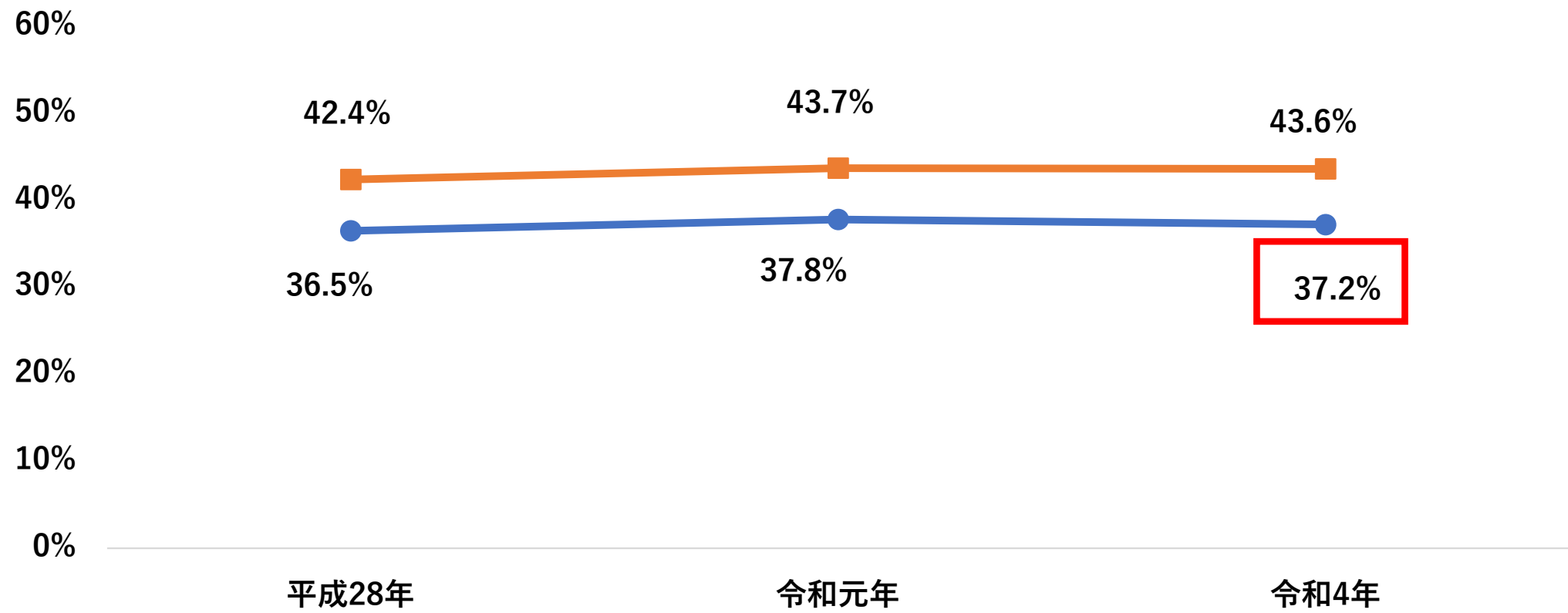


○ “ライフコース”に関するもの【健（検）診】

● 胃がん、肺がん、大腸がん、子宮頸がん、乳がん検診において、全国平均と比較して受診率が低い。

子宮頸がん検診受診率

● 京都市 ■ 全国



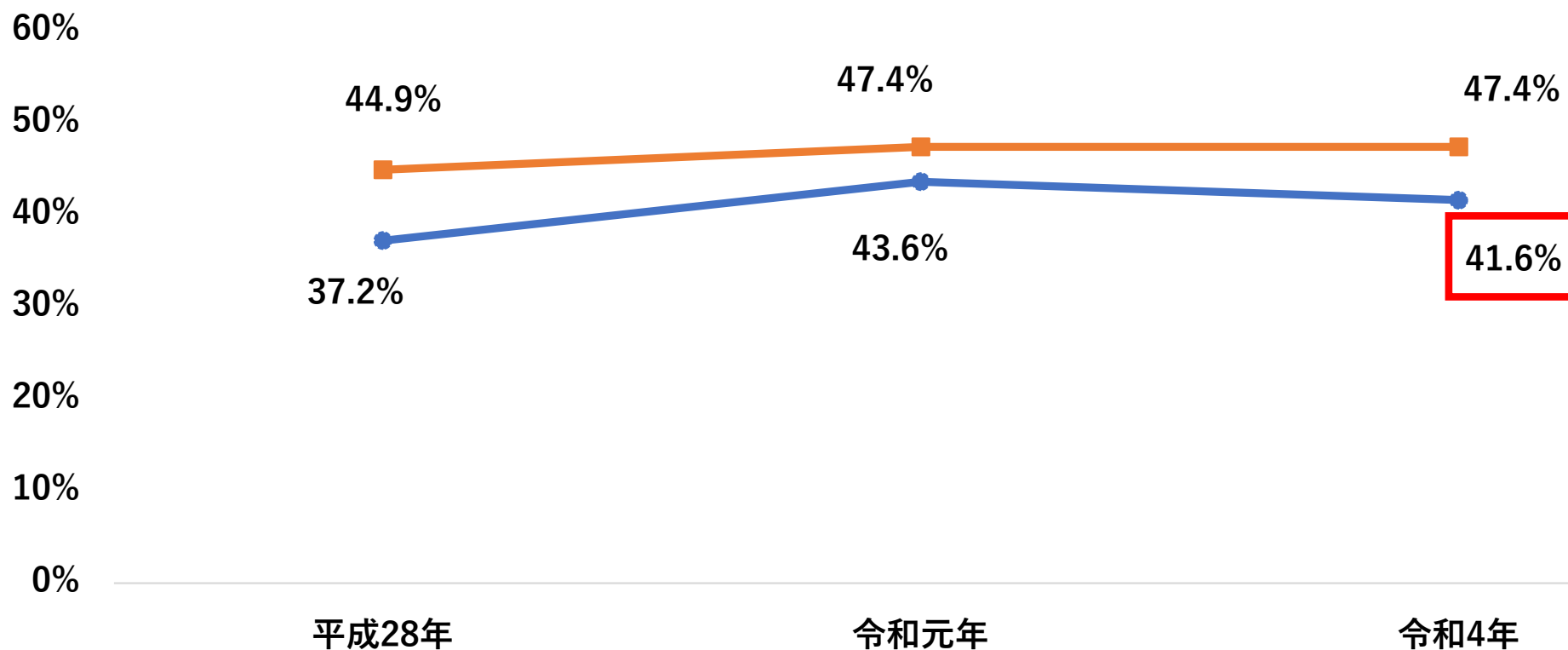
出典：国民生活基礎調査（平成28・令和元・4年度）

○ “ライフコース”に関するもの【健（検）診】

- 胃がん、肺がん、大腸がん、子宮頸がん、乳がん検診において、全国平均と比較して受診率が低い。

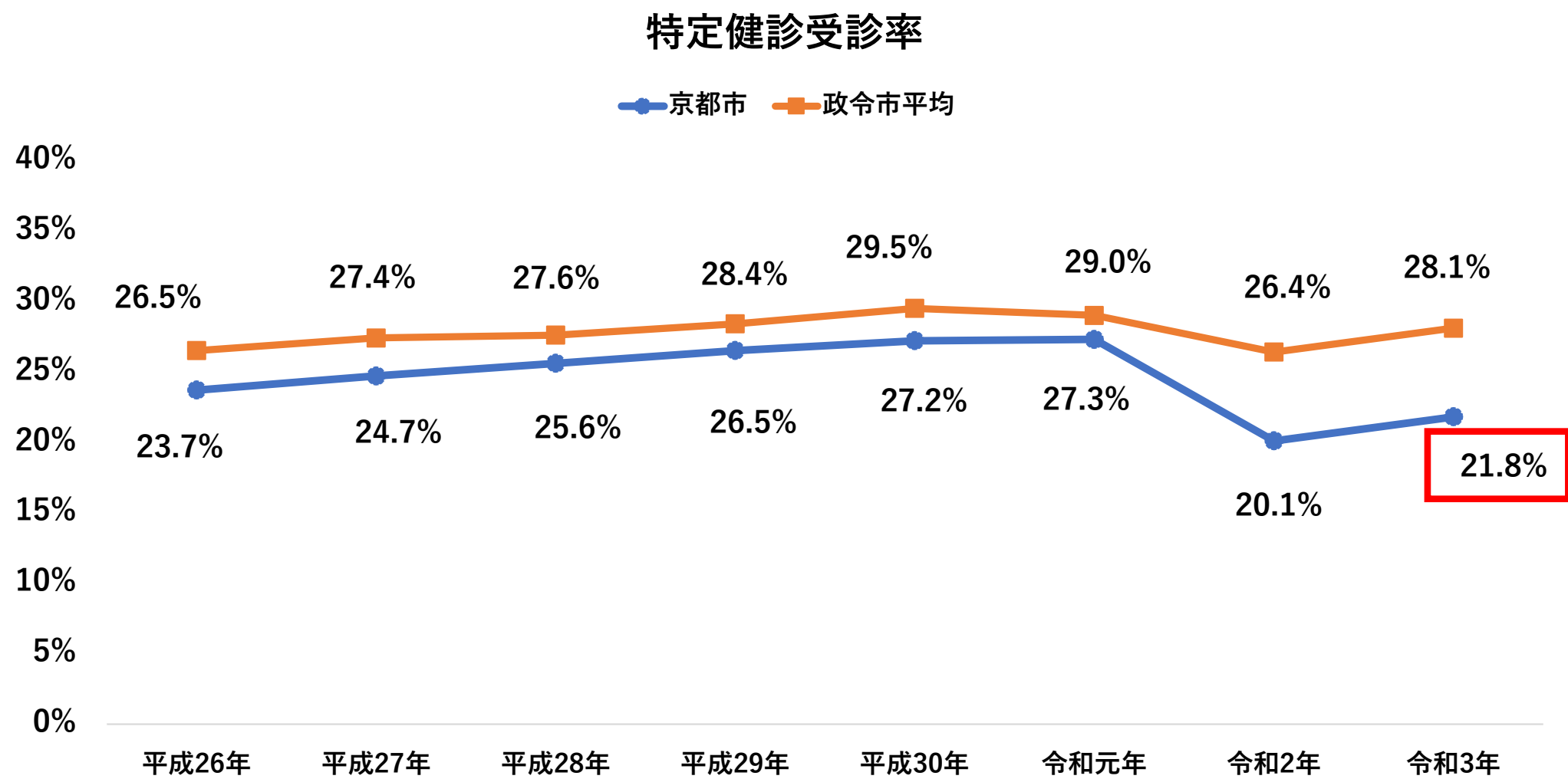
乳がん検診受診率

● 京都市 ■ 全国



○ “ライフコース”に関するもの【健（検）診】

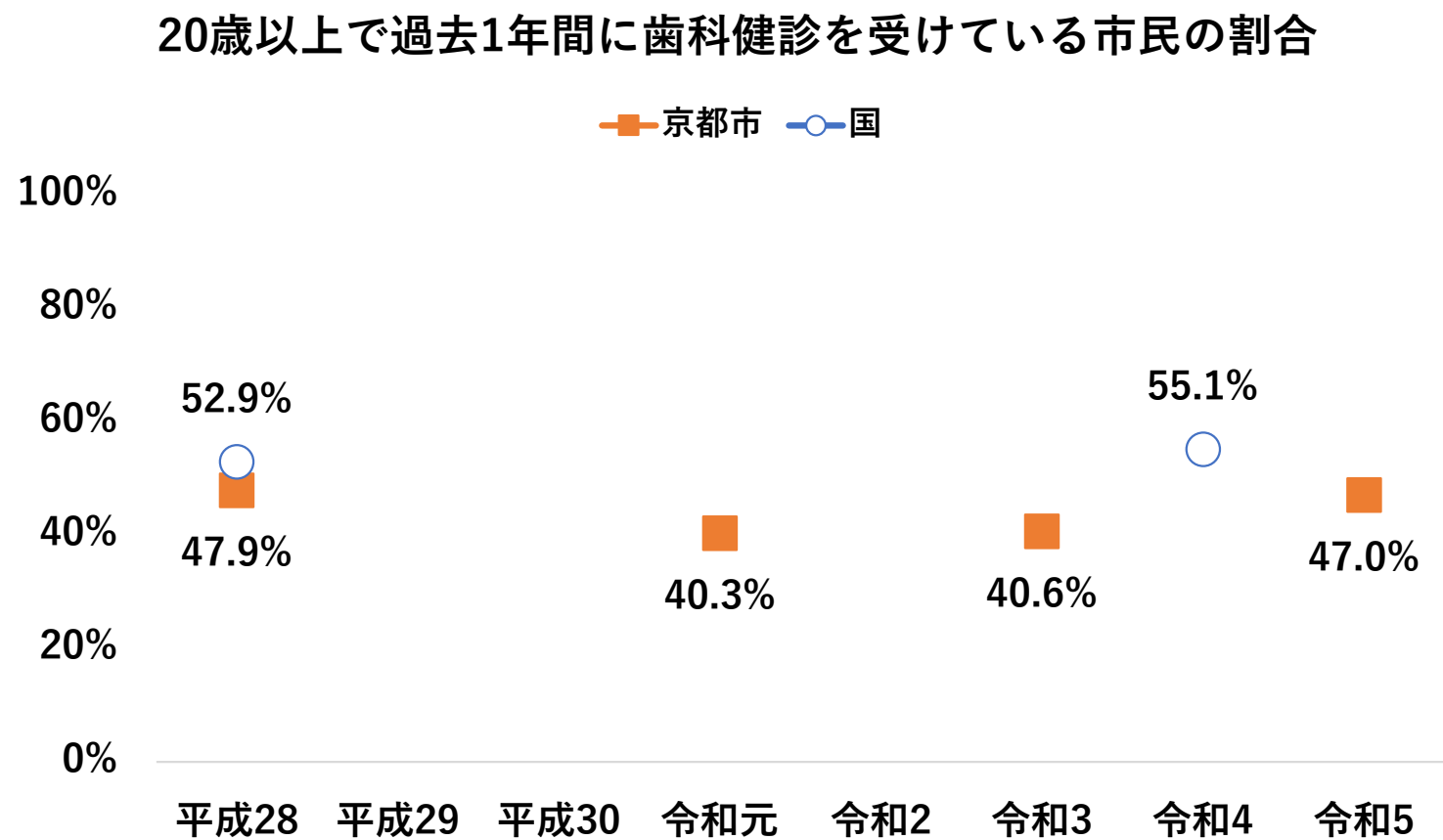
● 京都市国保における特定健診受診率が政令市平均に比べて低い。



出典：京都市国保特定健康診査結果（平成26年～令和3年度）

○ “ライフコース”に関するもの【健（検）診】

● 20歳以上で過去1年間に歯科健診を受けている市民の割合はやや減少。



出典：京都市市政総合アンケート（平成28年度）
京都市健康づくり・口腔保健・食育に関するアンケート（令和元・3・5年度）
国民健康・栄養調査（平成28年度）、歯科疾患実態調査（令和4年度）